

御礼

今回のアンケート調査は、無作為抽出でご回答いただいた市民の方々をはじめ、区長会協議会会員、民生児童委員、母子保健推進員、小・中学校PTA役員、市内高校生（県立玉名高等学校、県立玉名工業高等学校、県立北稜高等学校、私立玉名女子高等学校、私立専修大学附属玉名高等学校）、九州看護福祉大学生と、多くの皆様のご協力をいただき「玉名市人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することができました。誠に感謝申し上げます。

頂いたご意見や集計結果を真摯に受け止め、玉名市の発展と市民の幸福ために今後とも邁進して参りますので、引き続きご協力とお力添えをいただきますようお願いいたします。

令和2年3月

玉名市長 藏原 隆浩

2020

参考資料

2020年3月

玉名市 企画経営課

目次

I 玉名市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定に伴う調査概要	1
II 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に伴う調査概要	14
III 玉名市内の高校に通学する皆さんへのアンケート調査概要	25
IV 九州看護福祉大学で学んでおられる学生の皆さんへのアンケート調査概要	33

※本書を読む際の留意点

- (1) 比率(%)はすべて百分率で表し、小数第1位を四捨五入しているため、比率の合計の和が100%にならない場合があります。
- (2) 比率(%)はすべて百分率で表し、小数第1位を四捨五入しているため、比率が0.5%未満のものについては0%と表示している場合があります。
- (3) 設問の選択肢表記について、語句を短縮・簡略化している場合があります。

I 玉名市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略 策定に伴う調査概要

1. 調査目的

本調査は、「玉名市人口ビジョン」と「玉名市まち・ひと・しごと総合戦略」が令和元年度で終了することに伴い、次期計画の策定に向けて、本市在住の18歳から49歳の男女に意見・意向をお尋ねし、総合計画の基礎資料とするために実施しました。

2. 調査項目

- (1) あなたご自身のことについて
- (2) 結婚・出産・子育てのことについて
- (3) 玉名市の住み心地などについて

3. 調査設計

- (1) 調査地域 玉名市全域
- (2) 調査対象 玉名市在住の18歳～49歳の男女を無作為抽出により選定
- (3) 標本数 1000件
- (4) 調査方法 郵送による配布
- (5) 調査時期 令和元年10月10日～10月31日

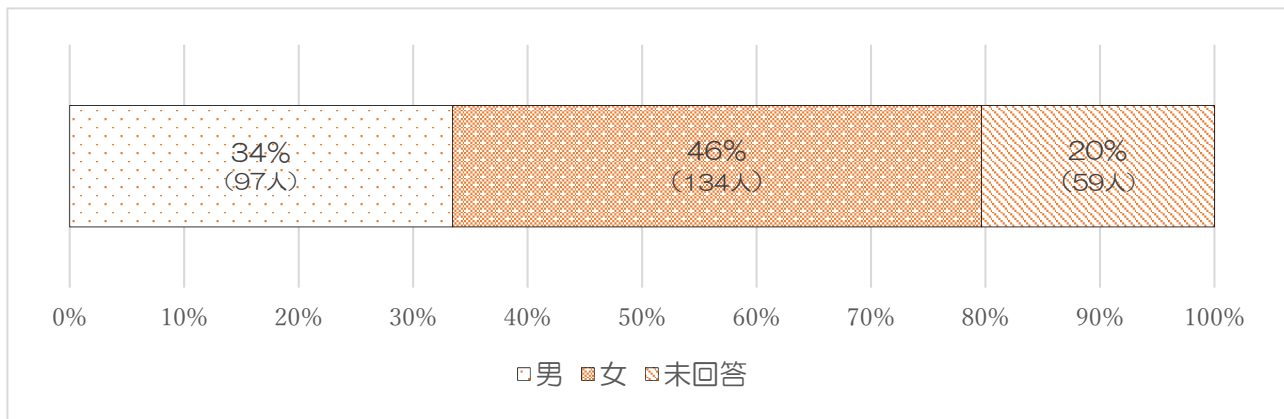
4. 回収状況

- (1) 標本数 1000件（郵送到達 994件、郵送不達 6件）
- (2) 有効回収数 290件 （29.2%）※郵送不達を除く

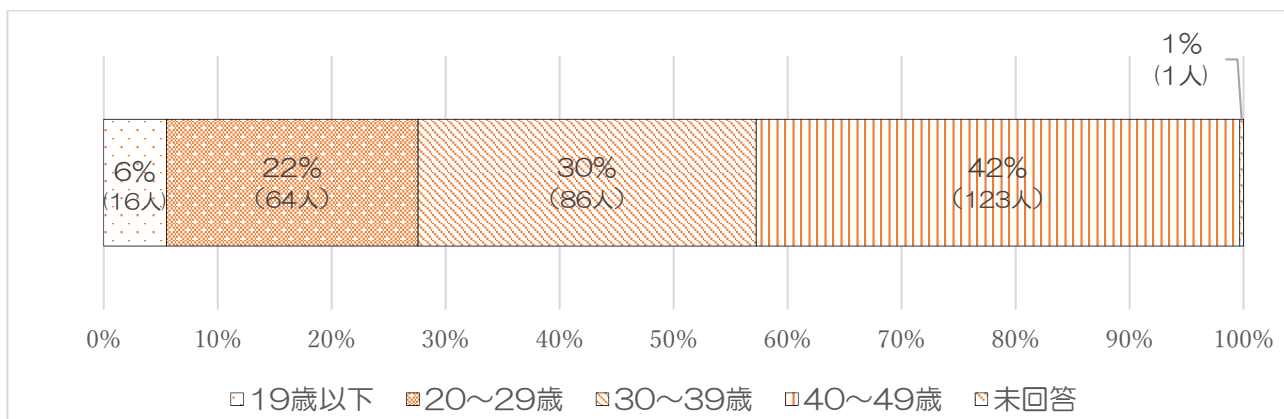
●玉名市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略策定に伴う調査結果

問1. あなたの性別と年齢をお答えください。

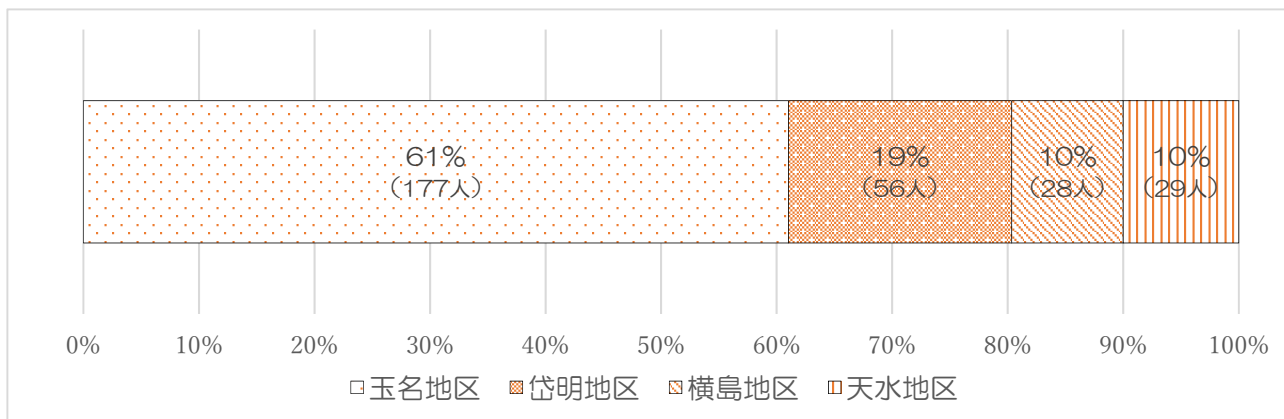
①<性別>



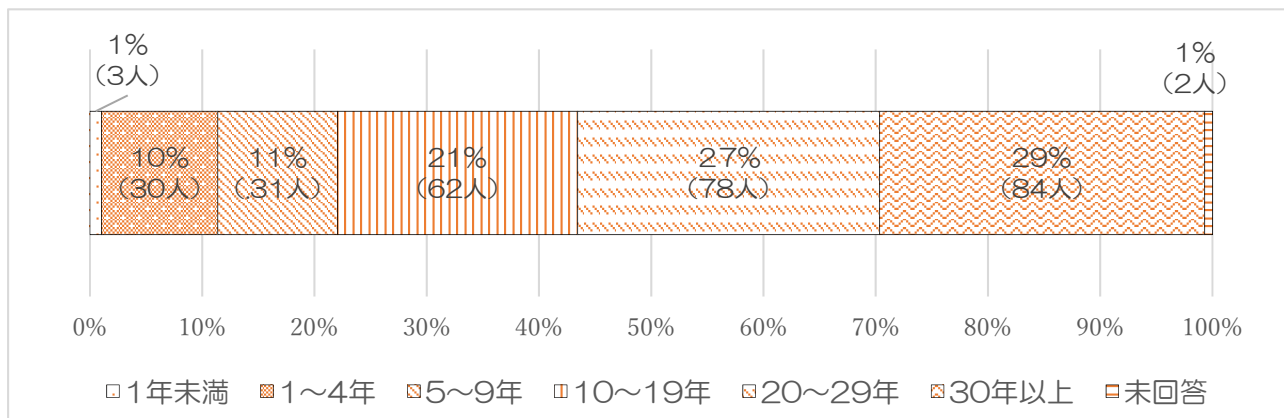
②<年齢>



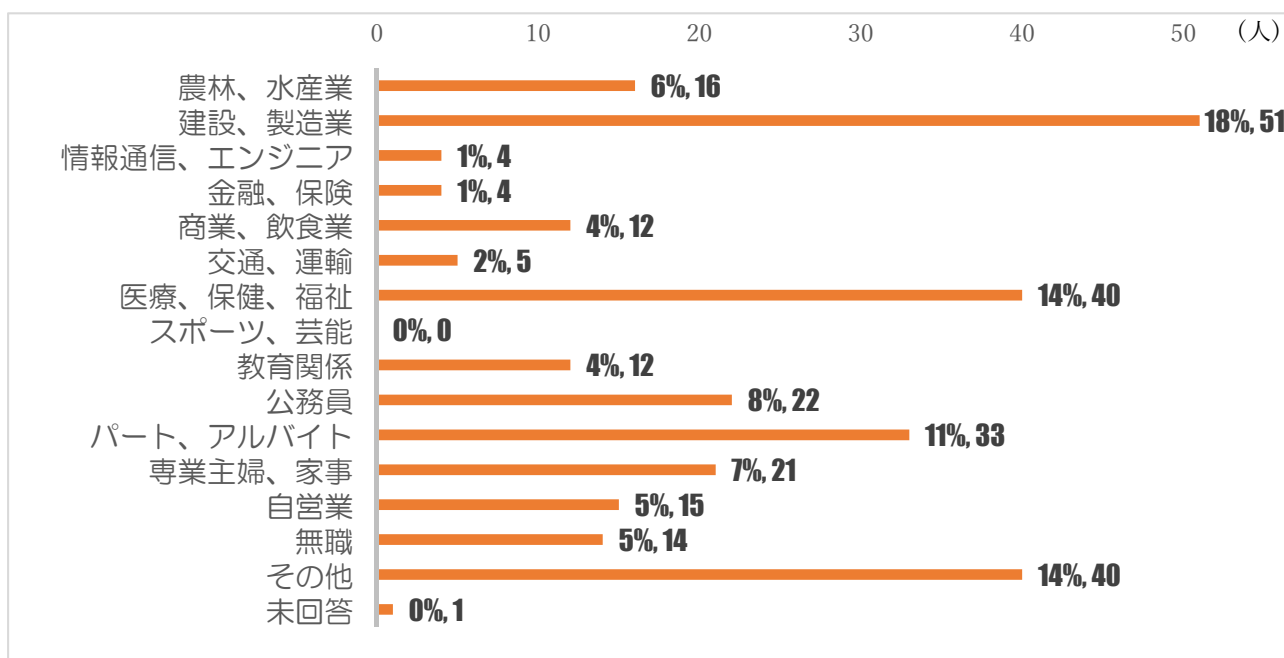
問2. あなたのお住まいの地区はどちらですか。



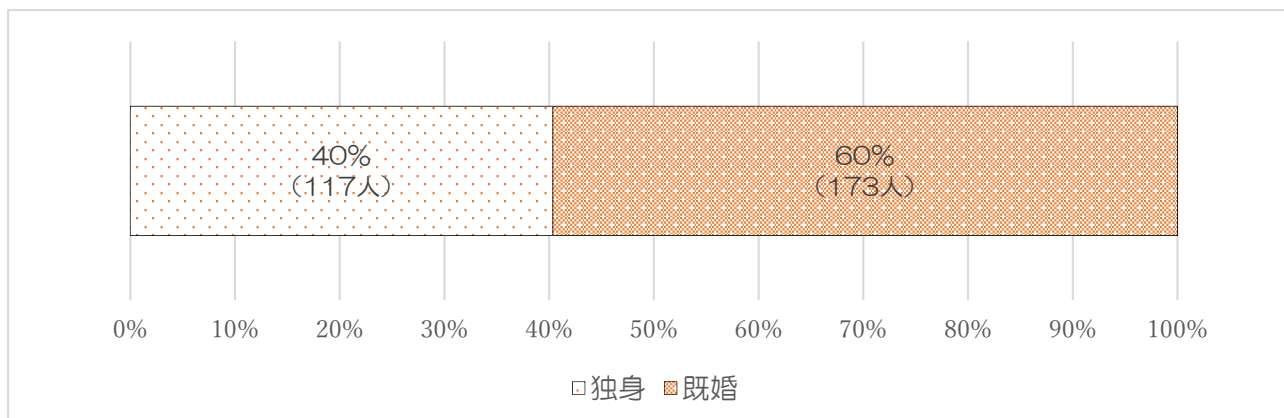
問3. あなたは、現在玉名市に何年お住まいですか。



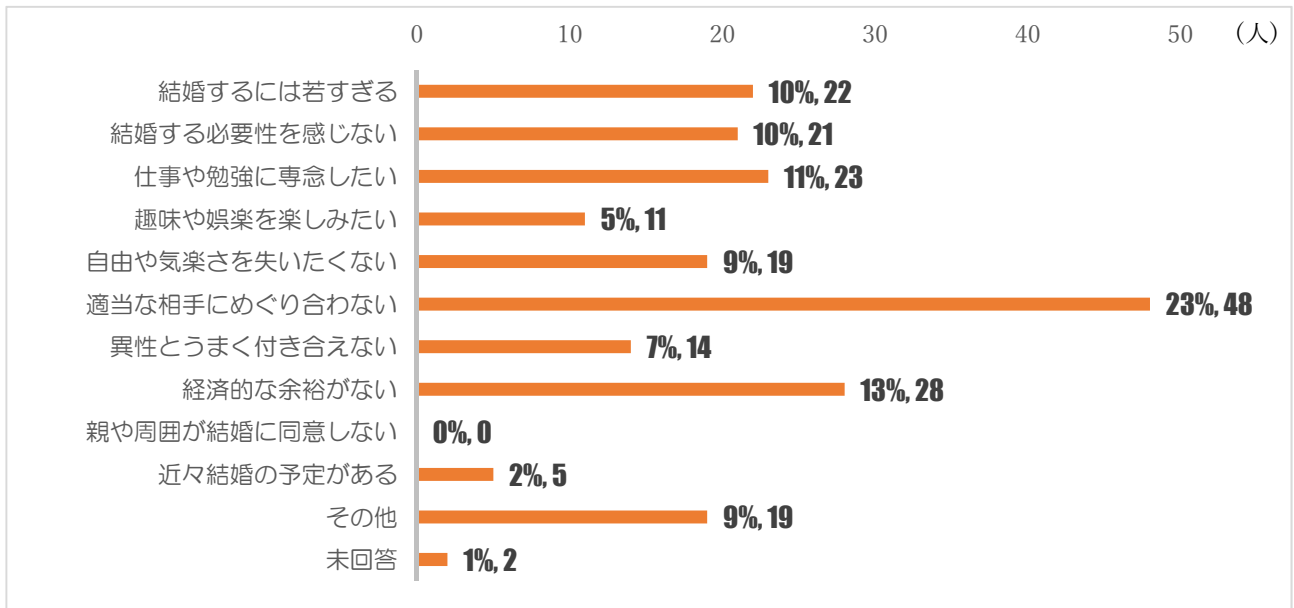
問4. あなたの職業をお答えください。



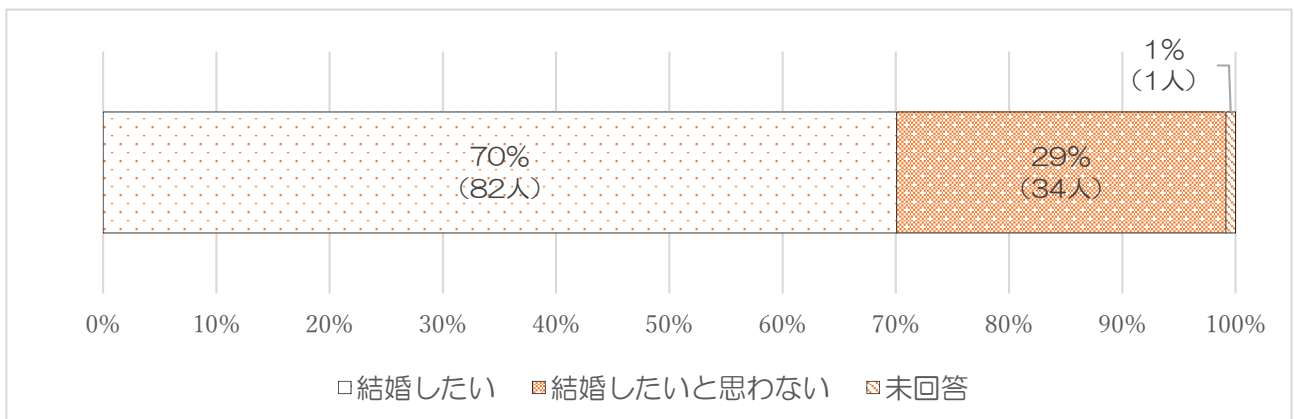
問5. 現在、あなたは結婚していますか。



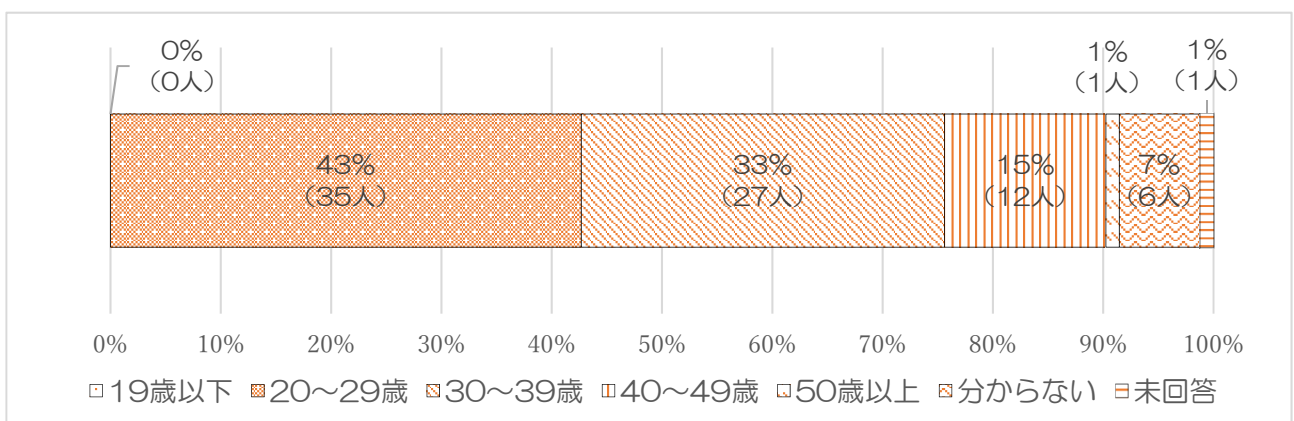
問6. どのような理由で結婚していないのですか。(3つまでに○)(独身を選択した方)



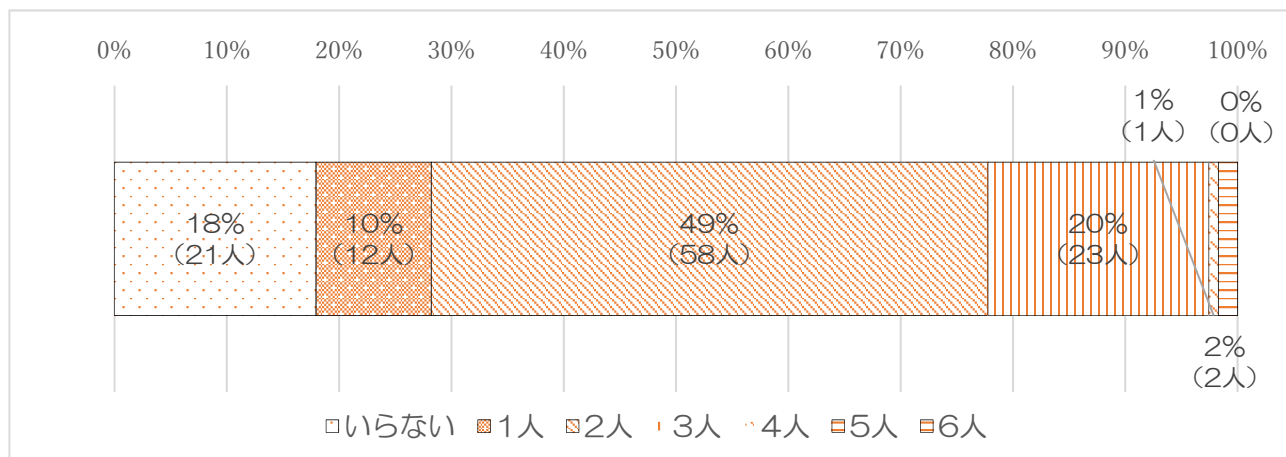
問7. 将来、結婚したいと思いますか。(独身を選択した方)



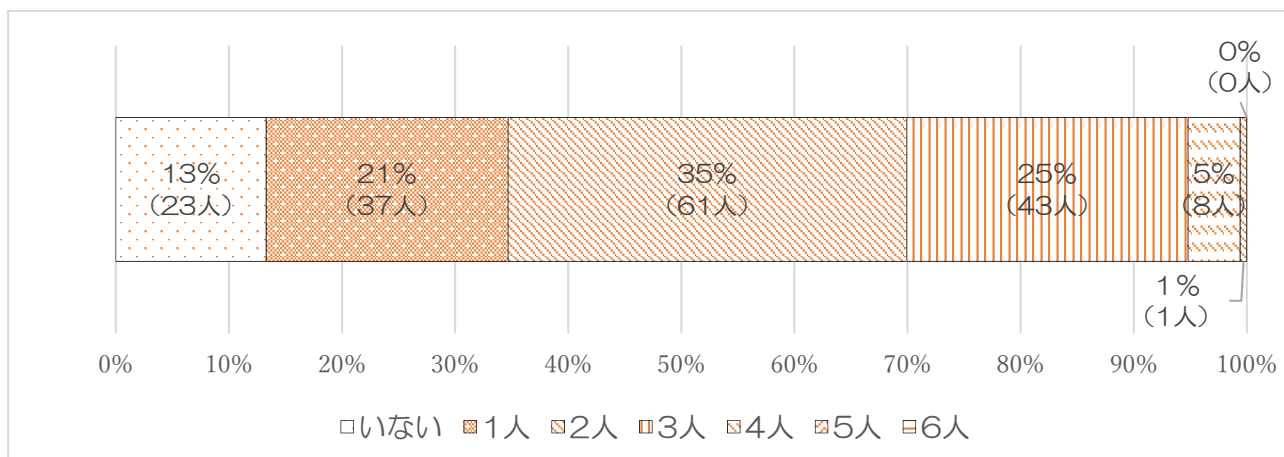
問8. 何歳くらいで結婚したいと思いますか。(問7. 結婚したいを選択した方)



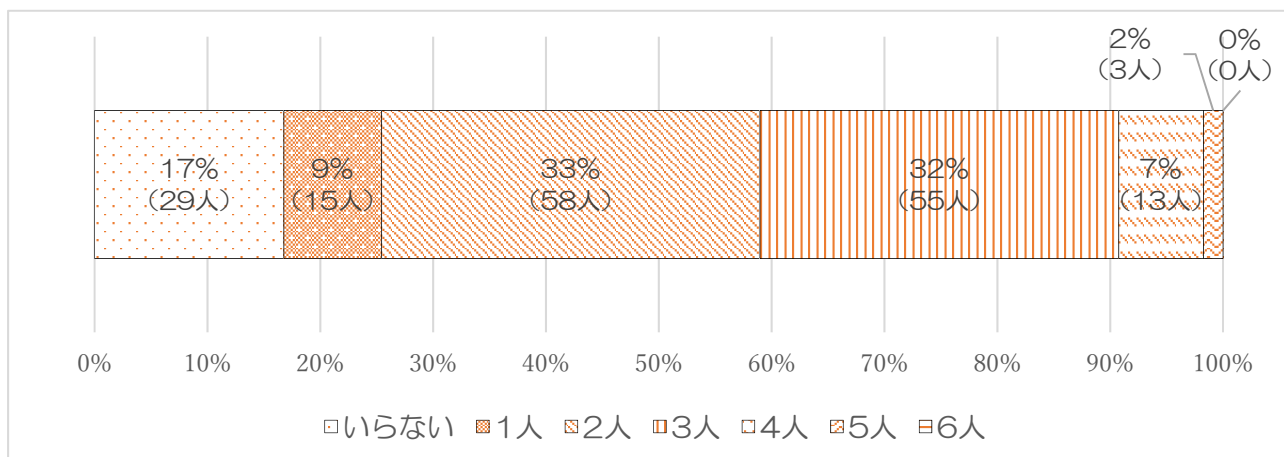
問9. 将来、あなたが持ちたい子供の総人数は何人ですか。(独身を選択した方)



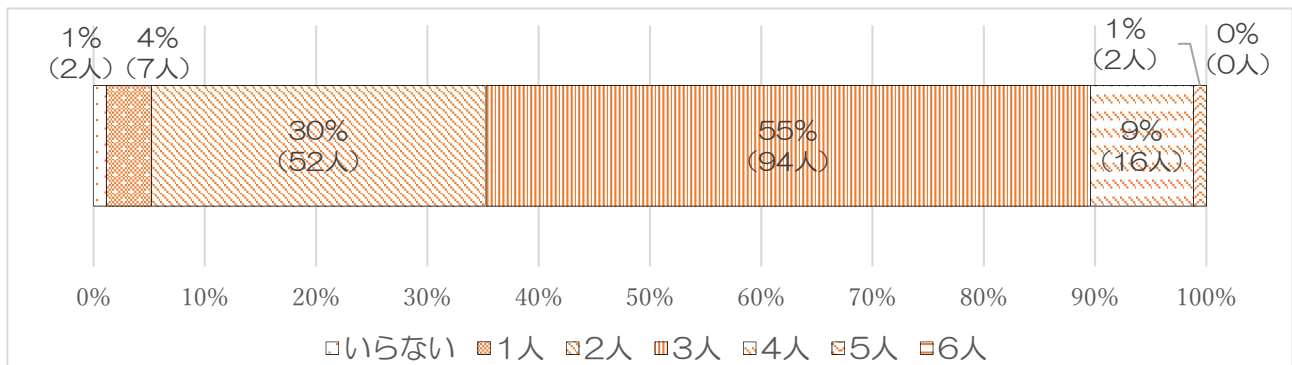
問10. 現在あなたには何人の子どもがいますか。(既婚を選択した方)



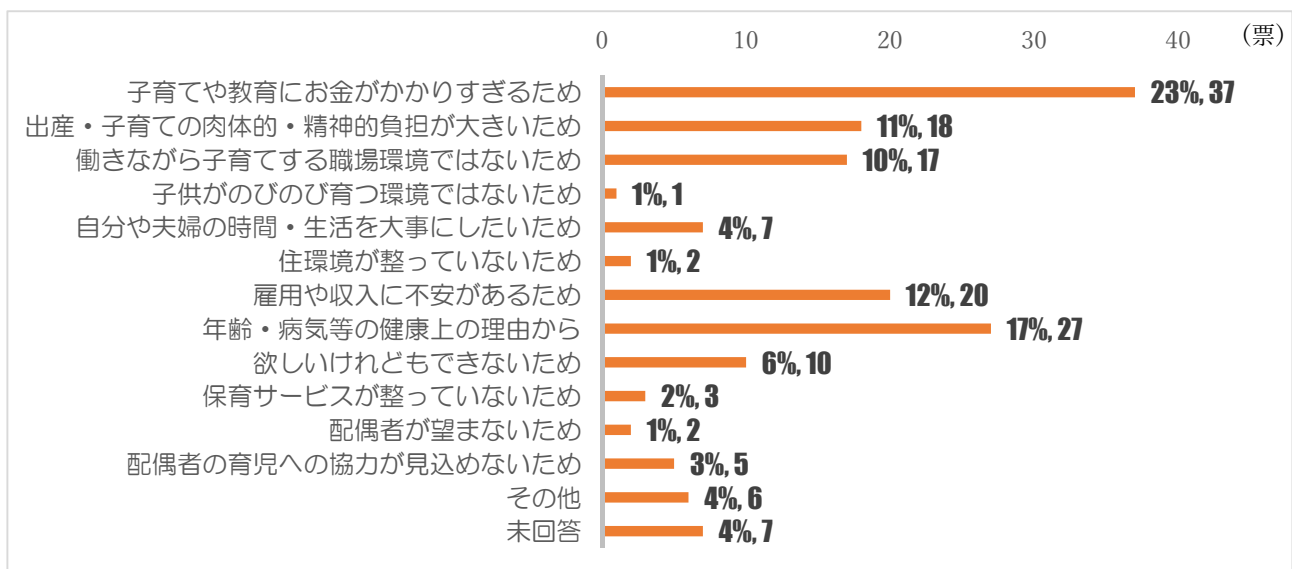
問11. 今後、あなたが最終的に持ちたい子どもの総人数は何人ですか。(既婚を選択した方)



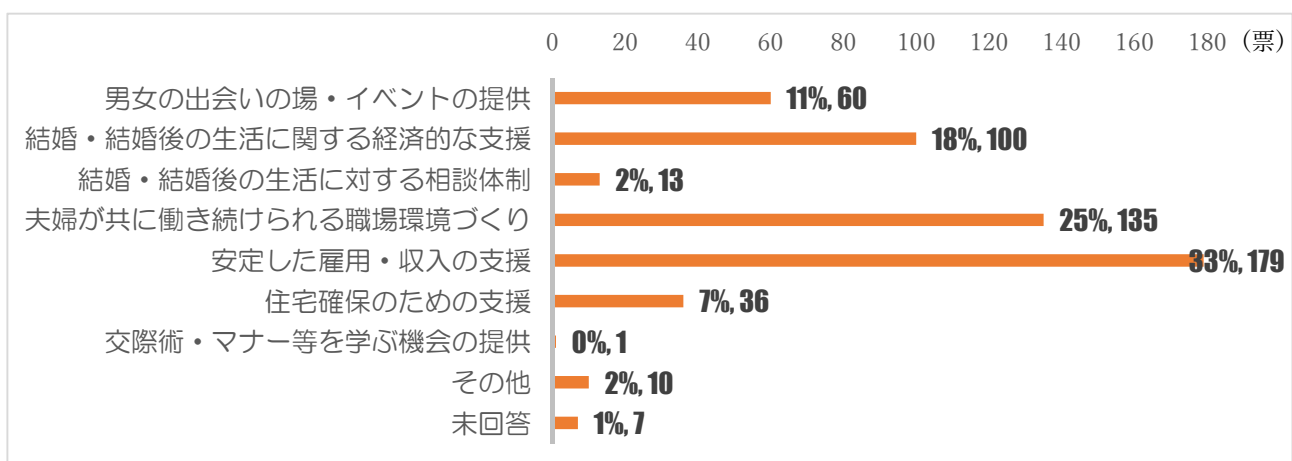
問1 2. 問11にかかわらず、あなたにとって理想的な子どもの総人数は何人ですか。
(既婚を選択した方)



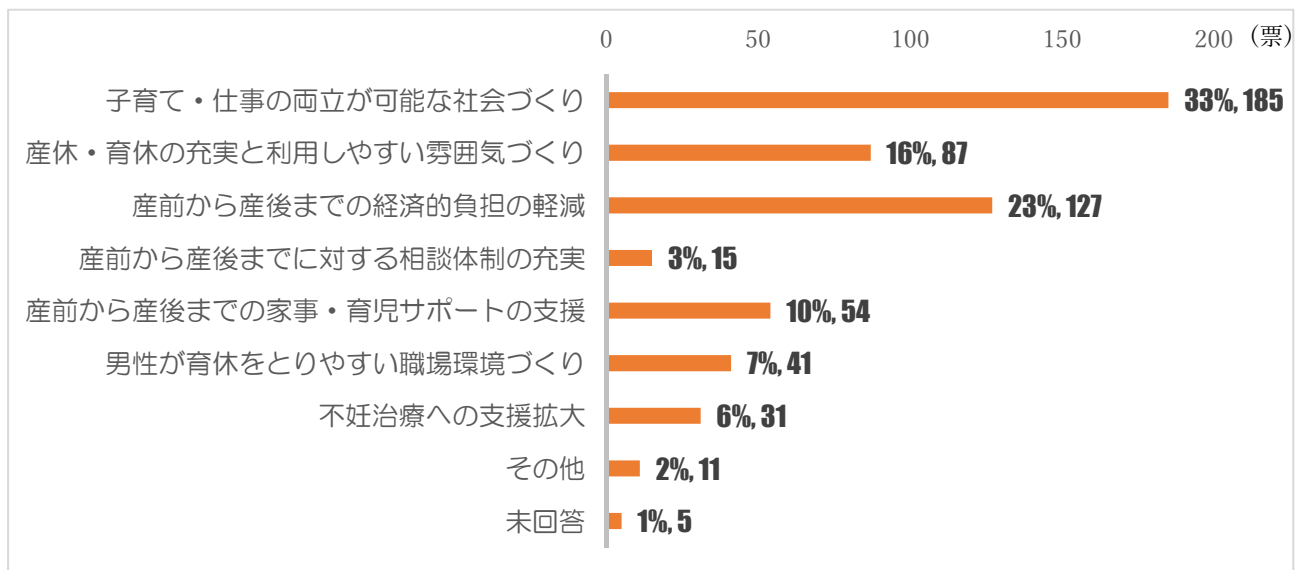
問1 3. 問12の数よりも問11の数が少ない方にお聞きします。
妨げになっている理由は何ですか。(3つまでに○) (既婚を選択した方)



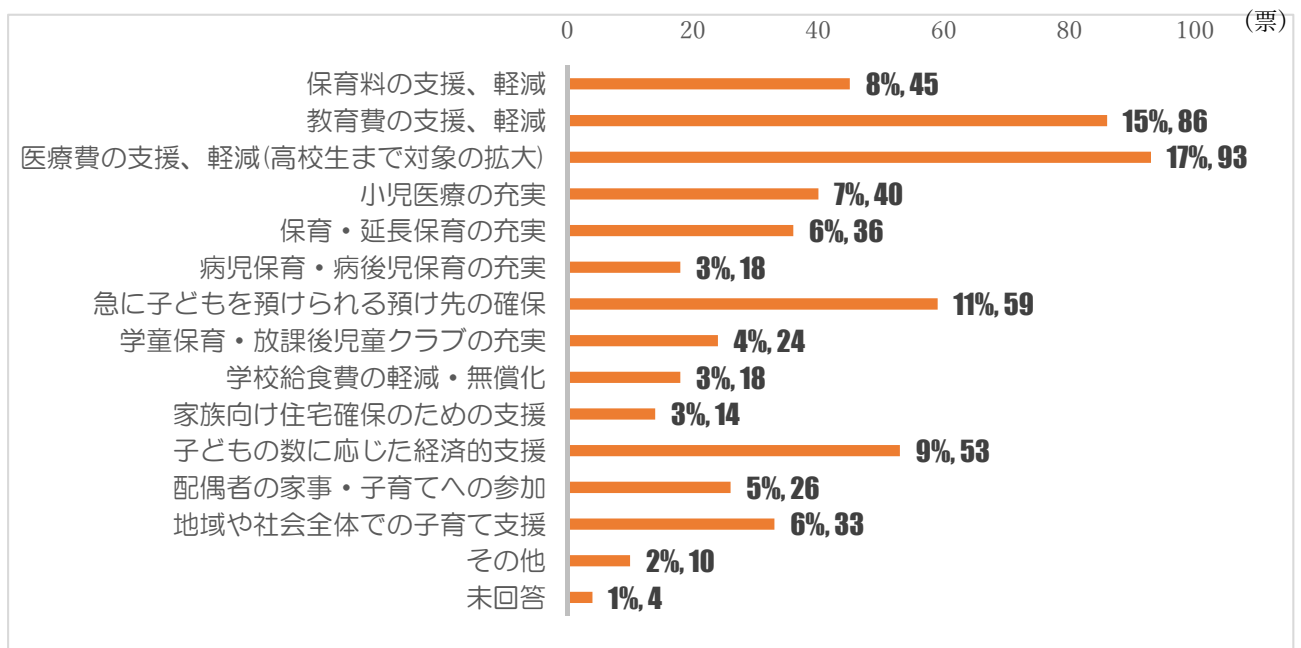
問1 4. 結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるために、
どのような支援・環境づくりが必要だと思いますか。(特に重要なもの2つに○)



問15. 出産しやすい、出産したいと思える環境をつくるために、
 どのような支援・環境づくりが必要だと思いますか。(特に重要なもの2つに○)



問16. 子育てしやすい環境をつくるために、
 どのような支援・環境づくりが必要だと思いますか。(特に重要なもの2つに○)



問17. 結婚や出産、子育てがしやすいまちにするためのアイデアやご意見があれば、お聞かせください。

- 全体で90の意見が出ている。
- 中でも「経済的支援関係」、「保育サービス関係」についての意見が多数出た。
- 結婚前後よりも出産・子育て時に対する意見要望が多く、特に子育てを行うときに支援を必要としている。

● 問17. 自由回答記載（一部意見の抽出）

<p>● 相談できる体制づくりについて</p> <p>地域の子育て支援政策や施設があることを知らずにいる方が周りにもいます。情報として耳に入りやすいように対策をして、制度を利用しやすくできればいいなと思います。出産に関しても、妊娠中、産後の母親のサポートや相談できる場所の周知を徹底し、産院の情報を探しやすいれば助かるのではないかと思います。自分は子育てで、玉名市のいろいろな施設で本当に助けていただきました。それを出産や育児で不安に思っている方にも伝えればいいなと思っています。</p> <p>本当に子育てで悩んでいる人は、なかなか助けてほしいと言えない人が多いと思います。特に第一子の子育ては、右も左も分からない事が多々あるが、相談する場所も分からないので、相談場所の広報活動に力を入れて、そういう場所があるというのを皆が認識できたら良いと思います。産後は、寝不足や体調不良を起こしやすいので、相談したくても行動に移すのが大変なので、電話相談できるのも大変ありがたいと思う。少しでも、子育てしやすくなるように、買い物、掃除、料理の代行（有料でも可）があれば嬉しいです。私の妻は、高齢出産で産後うつになり大変だったので、家族のサポートの仕方等を教えて（サポートして）くれる場所があれば良いと思う。</p> <p>初めて子育てする人にとって何も分からない事がほとんどなので、市の人や保健師の人からありとあらゆる事を教えてほしい（保育園の事など）。子育て家族に対する経済的な面を、免除や支給などで補って欲しい。母と子供がストレス無く育児できるような環境づくり（ワンオペ育児※や同居しているママへの精神的な面のサポート）。</p>

※ワンオペ育児とは…配偶者の単身赴任など、何らかの理由により1人で仕事、家事、育児の全てをこなさなければならない状態を指す言葉。

<p>● 働く場について</p> <p>病気の子どもを他人に預けることより、母親が休みを取りやすくなる様に企業に働きかける方が大事なのでは。</p> <p>問16の「保育料の支援・軽減」～「地域や社会全体での子育て支援」までは、今の支援で充分だと思います。後は、働きながら子育てしていくに当たって、定時で帰れる・有休が使いやすいなどの職場環境が整っていけば、もっと子育てしやすくなると思う。また、設備の整った公園・低年齢児から小学生まで遊べる場が地域ごとにもっとあれば、近所の方々との交流の場にもなると思います。金魚と鯉の郷や熊本市の子供の文化館、長崎の子どもの城のような場も1つくらい欲しい。</p> <p>安定した雇用・収入のための企業誘致（地元）</p>
--

● 保育サービスについて

仕事をしているので、夕方の延長保育や学童保育時間をもう少し延ばしてほしい。同じく、土、日の預かりもあると助かる。預かっただけの保育所や学童の先生方の処遇改善も見直していただきたい。

保育所の増加や、保育士の増員を行い、待機をもっと減らす。子供を預ける場所がないと働けない、働けないと家計は厳しくなり、子供を産む余裕はなくなる。そういう家庭が増えると、結婚に対しても否定的に思う人も増えると思う。子供を産んで玉名市に戻ってきたが、玉名市の子育て支援事情を知っていたら戻ってこなかったと思う。それくらい子育てするには、保育園事情は重要である。

子供を4人以上産んだらお祝い金を出すなど、他の市町村ではされているので、あったら良かった。土日祝、連休のみ利用できる学童的な施設があれば、働きやすくなるし、そこに子供食堂のような軽く食べられる所を作ってもらえれば、助かると思う。（土・日・祝・夏休み・冬休み・GWのみの学童）利用料も時間制にしてくれれば、短時間勤務の親には利用しやすくなると思う。

● 住宅

横島地区は、賃貸住宅、市、県営住宅が少ない為地区外を選択せざるをえない。

遠隔教育と遠隔医療の整備と充実。玉名市は人口減少が進んでいるが、世帯数は年々増えていることから住宅取得に対する支援体制は必要と思う。

● 地域コミュニティについて

時間に余裕があるしっかりされた高齢者と児童と一緒に過ごせる地域サポートセンターのような施設があると高齢者は若く、児童は少しでも待機児童が減るのではないかと思います。

退職後の元気な方々と子供達の交流を通して、病児・病後児保育や、預け先が確保できれば、Win-Winの関係にすることができるのではないのでしょうか。私は、子供が幼い頃、義母の理解が得られず、資格を持ちながらキャリアを築くことが出来なかった事をずっと悔やんでいます。玉名には、同じ思いのお母さん達も多いです。母親だけでなく、祖父母、地域の方も巻き込んだ子育てが、心がたくましい子を育てられると思いますが、難しいですね。

● 医療について

小児医療が充実しておらず、不安がある。

乳幼児期の夜間及び時間外の診療について、熊本市内まで行くことになるため、玉名市内に安心して受診できる医療機関があればよいと思った。

● 経済的な支援について

子供が小さい家庭は共働きであっても収入が少ない家庭が多いように思います。子供が小さい家庭やある一定年収以下(子どもがいる家庭)の家庭に補助金や地域のスーパーで使える商品券、学校の制服等の配付などの手厚いサポートがあればいいなと思います。

出産、子育てで思うのが経済面だと思います。産前、産後、育休時に共に収入が減り、その為には子供が1才に満たないうちに、復帰する人が多いです。その為問16で挙げた「保育・延長保育の充実」、「急に子どもを預けられる預け先の充実」が大切だと思います。

出産を期に仕事を退職した人は、保育園への入園や再就職が難しい。賃金の相場は安い、家賃の相場は高いように思う。

とにかく経済的負担が多い。3歳から児童手当が減るのも困る。3歳からがお金がかかってくるのに減っていくのであれば、もう少し他のところの負担を減らしてほしい。子育て世帯に全然やさしくない。出ていくものが多いのに、子どもが減っていくのは当たり前だと思う。

● 男女共同について

男子学生(中高大)が家事・子育てを体験する機会があれば、将来男女が共に子育て・仕事を両立し、子供もよい環境で育つと思う。(スクールのワークライフインターンを参考にしたい)子育て体験から男子学生も、学ぶことも感じることも多くあるだろうし、自分の将来のことを考える機会にもなると思う。

男性の育児参加は、若い世代では、世の中全般的に少しずつ改善されているようですが、家事労働への参加はまだままだの気がします。いまだに、「やってあげている」という意識の男性と「やってもらっている」という女性の考え方を、「手の空いている人がするのが当然」という当たり前の意識改革が必要だと思います。上手に子育て、家事を分担している若い世代の家庭などを記事にして、広報などにコラムとして定期的に載せ、無意識の内に意識を変化させていくのはどうでしょうか。また、男性だけでなく、特に熊本の女性は、男性に考えを願いせず、全部自分でしようとするのを美德とする方が多いと思うので(私は県外出身)、男性だけでなく女性の意識改革も必要なのではないかと思います。

● 結婚・出会いについて

出会いの場イベントを年2回ほど実施(各地区、順番で開催)

結婚をしたいが出会いの場がないので、出会いの場がほしいと思う。玉名の婚活の広告等が少ない気がします。もし相手がいたとしても遊ぶ場所がないので他の都市に行かなければならないのが不便である。

独身の男女の方が非常に多いと思います。結婚や出産、育児などは、本来はとても優先順位が高く価値の高い人生イベントであることを、教育(?)あるいは国策として打ち出していくことが不可欠だと思います。

● 公園・遊び場について

商業施設を増やし、出会いや交流をしやすい環境を作ってほしい。玉名の中で楽しめる場所が少なすぎて、他の都市に行くか娯楽に飢えたままふさぎこむしかないのは悲しい。

雨の日など、子供達が室内で体を動かす事ができる場所がほしい。(テニス・バスケット・バレー・サッカー・バドミントン・卓球等)

最近、子連れで参加しやすいイベントが増えてきたように感じます。(10月だと金魚と鯉の郷での催しが魅力的です。)玉名市でも、蛇ヶ谷公園や桃田運動公園など屋外の広場を利用して親子で楽しめるイベントがあるといいな一と思います。

小学校の子どもがいますが、夏休みなどの長期休暇の際学童以外でも活動できるような施設やイベントをもっと増やしてほしい。小学校の調理室を使って食育のイベントやものづくりなどで、親が就労中のために留守番している子どもたちの居場所作り、のようなものをもっと充実させてほしいです。学校ではプールもない、部活もない、なくなるばかりで家でゲームばかりの時間におのずとなくなってしまおう!!

● その他

玉名駅など、中心地がもう少し活気がある雰囲気になるといいなと思います。交通の便が悪く、車のない家庭は子育てがしにくいです。子供が病気のときなど気軽に利用できるようなシステムがあると助かると思います。

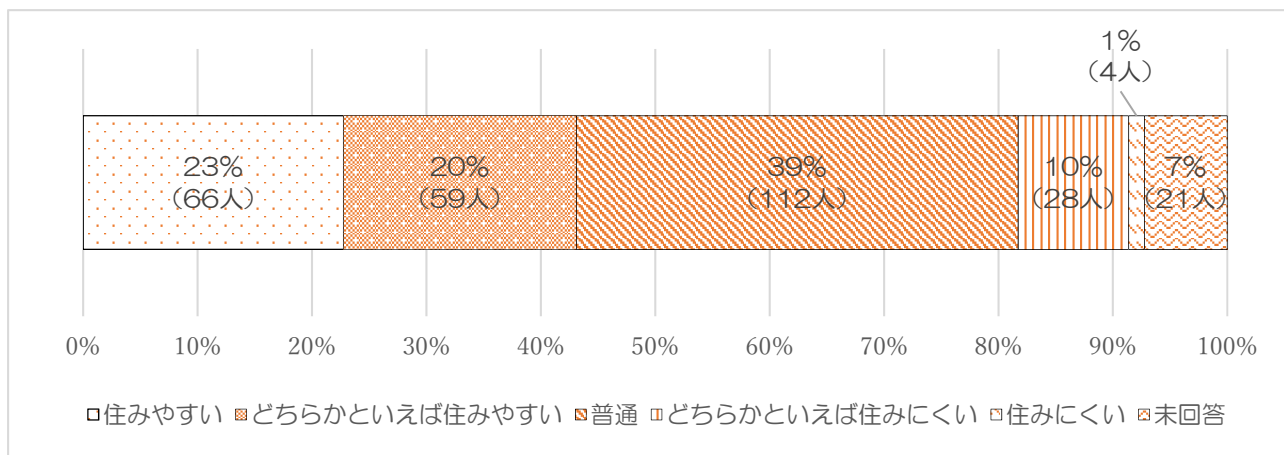
やはり当事者でないと分からないと思うので、アンケートもいいが、生の声を聞ける場を作ってみては? 結婚や子育てに意欲的でない人が、このアンケートを引くこともある。~しやすい環境を作る前に、意欲的になれない理由があるような気がする。

子供ができない家庭への支援をお願いします。里子、養子縁組などの公的制度の市民への周知制度利用の促進。

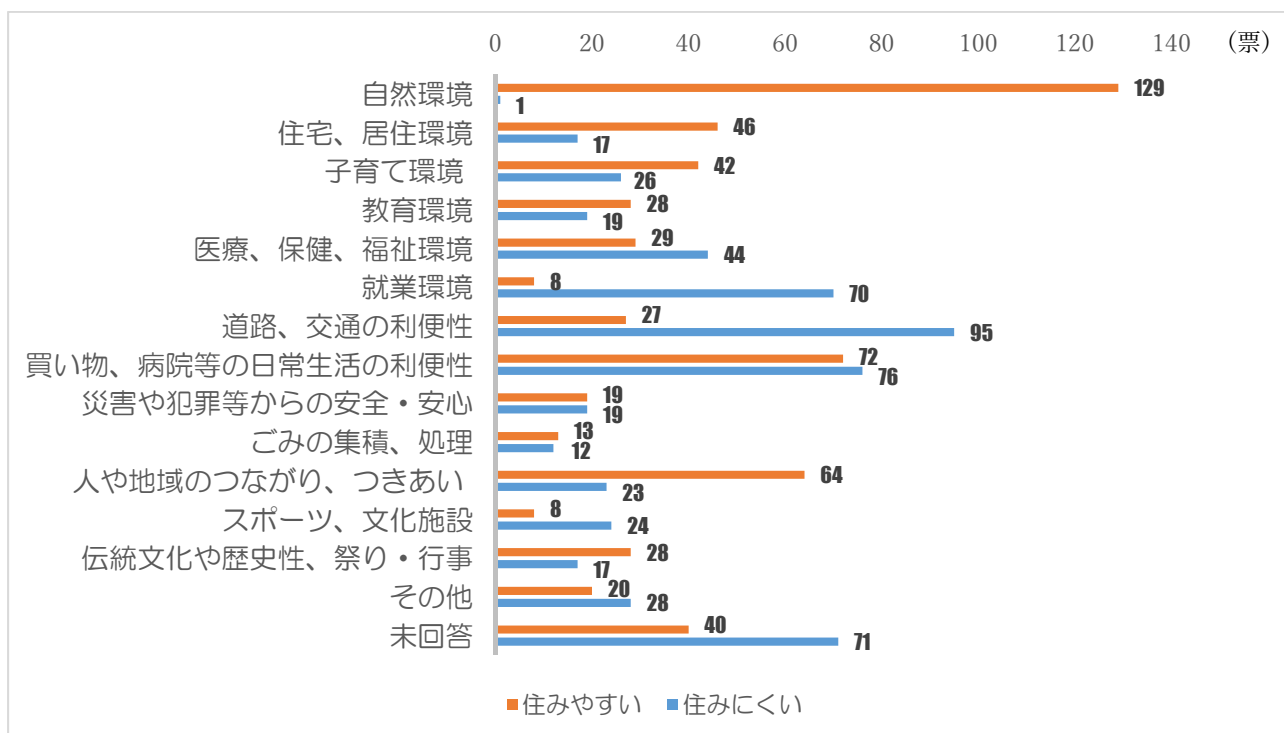
今、SNSなどを見ていると、食の安全性や政治への不安で溢れています。まず子供達には、地産地消の安全な給食、食材(スーパーなど)を食べさせてあげて欲しいと思います。そして、安全な「水」とても大切だと思います。とにかく「安心して暮らせる場所」だと、全国の皆さんから羨ましがられる程のまちになって欲しいと思っています。

玉名に住んで短くはありますが、道路の不便さをものすごく感じます。主要道路が不便なので、まずは緊急車両がスムーズに通れないので、時間を要するし対応の遅れをまねくようにも感じます。あと、駅、街など点在し離れているため、もう少し集約していればと思います。定住しやすい環境があれば、結婚、子育ても安心できるのではないのでしょうか。

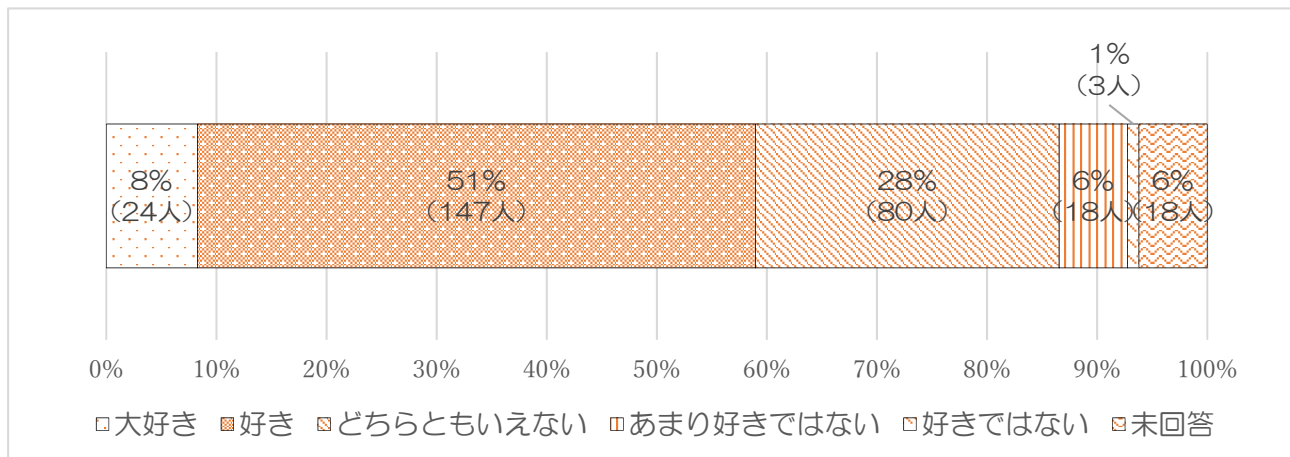
問18. 玉名市（あなたの住んでいる地区）の住み心地についてどう思いますか。



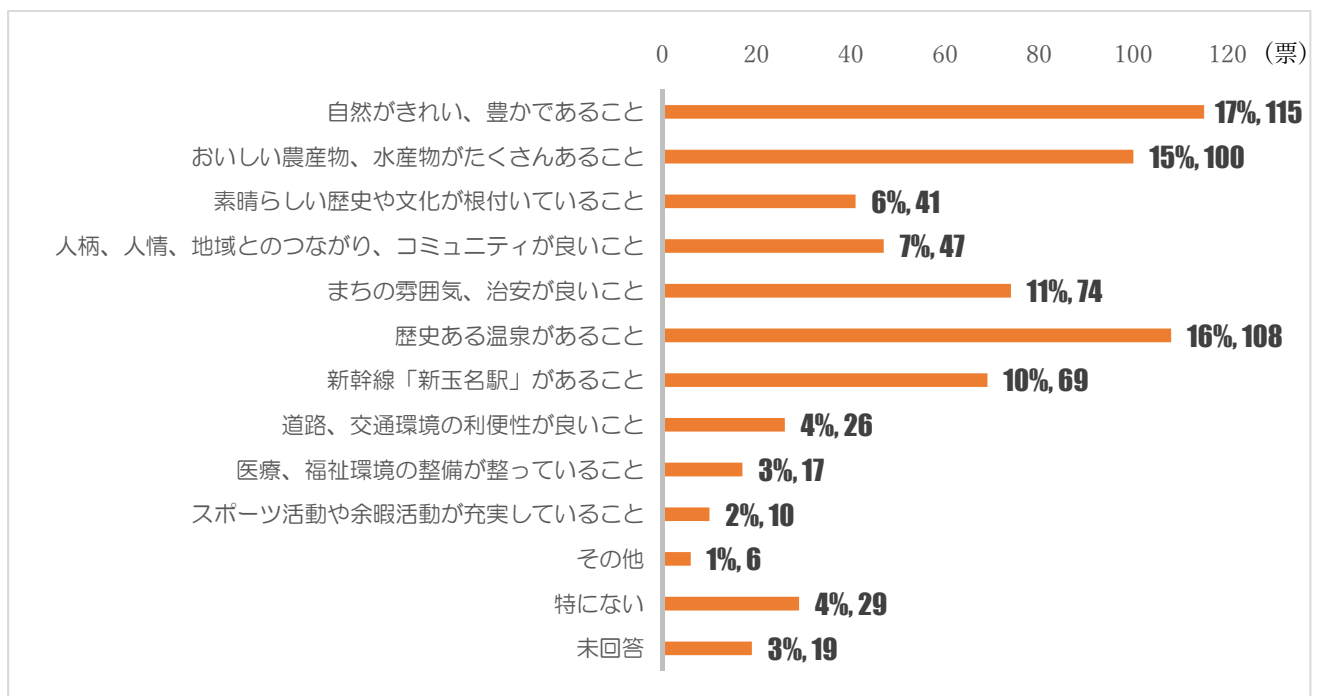
問19. 玉名市(あなたの住んでいる地区)の住みやすい、住みにくい理由は、それぞれどのような点だと思いませんか。あてはまる番号を3つまで記入してください。
(解答欄に該当する番号を記入)



問20. あなたは、玉名市（あなたの住んでいる地区）が好きですか。



問21. 玉名市の魅力、誇れることは何ですか。（複数選択可）



Ⅱ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に伴う調査概要

1. 調査目的

本調査は、「玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和元年度で終了することに伴い、次期総合戦略の策定に向けて、本市各種団体組織員の方々に意見・意向をお尋ねし、次期総合戦略策定の基礎資料とするため実施しました。

2. 調査項目

- (1) あなたご自身のことについて
- (2) 玉名市の住み心地などについて
- (3) 市政について
- (4) 玉名市の将来について

3. 調査設計

- (1) 調査地域 玉名市全域
- (2) 調査対象 ①区長会協議会、②PTA役員、③母子保健推進員、
④民生児童委員、⑤市役所新規入庁職員
- (3) 標本数 342件
- (4) 調査方法 配布または郵送
- (5) 調査時期 令和元年10月1日～10月31日

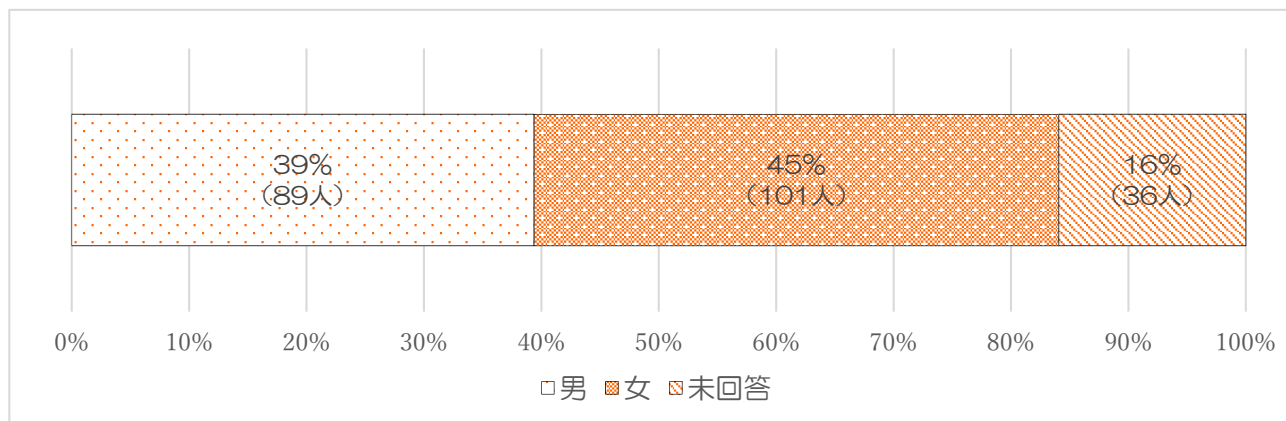
4. 回収状況

- (1) 標本数 342件
- (2) 有効回収数 226件 (66%)

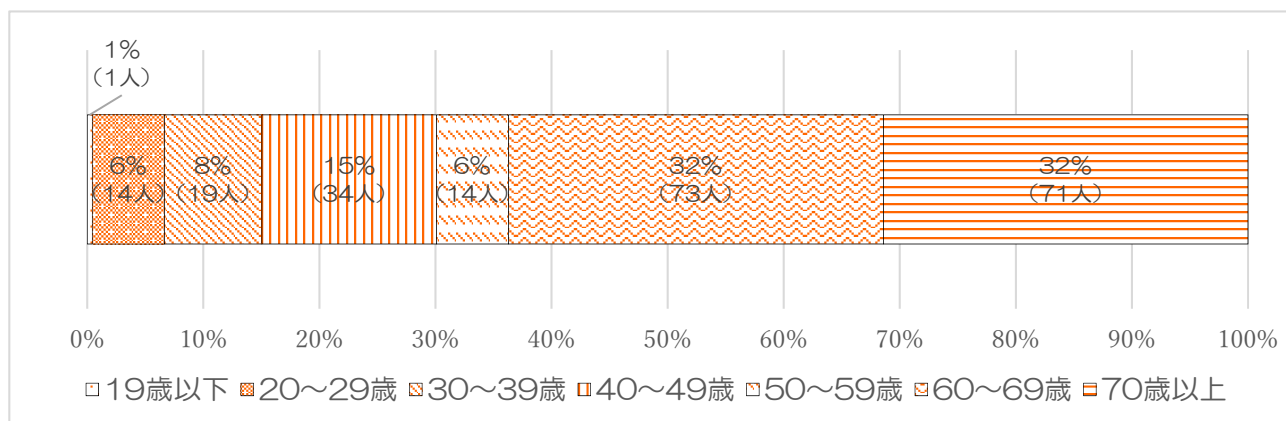
● 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に伴う調査結果

問1. あなたの性別と年齢をお答えください。

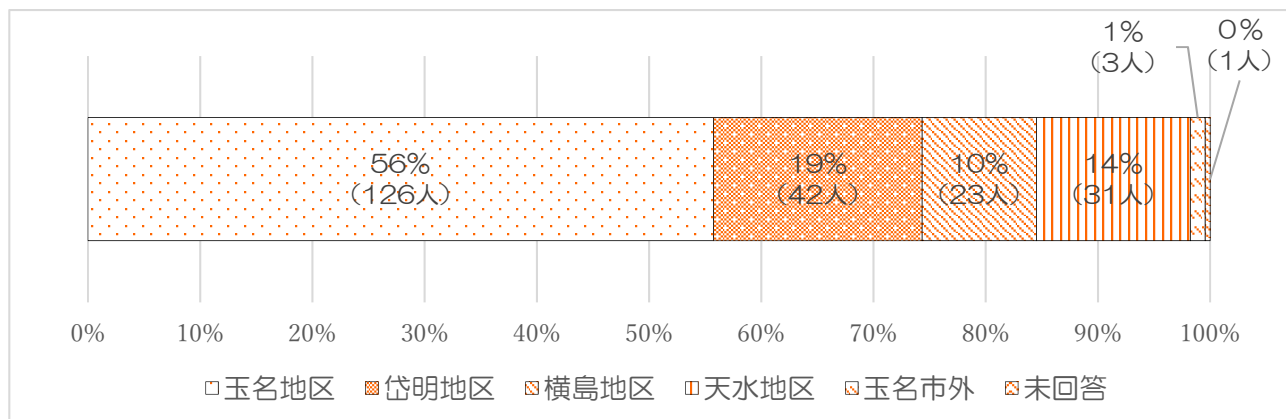
①<性別>



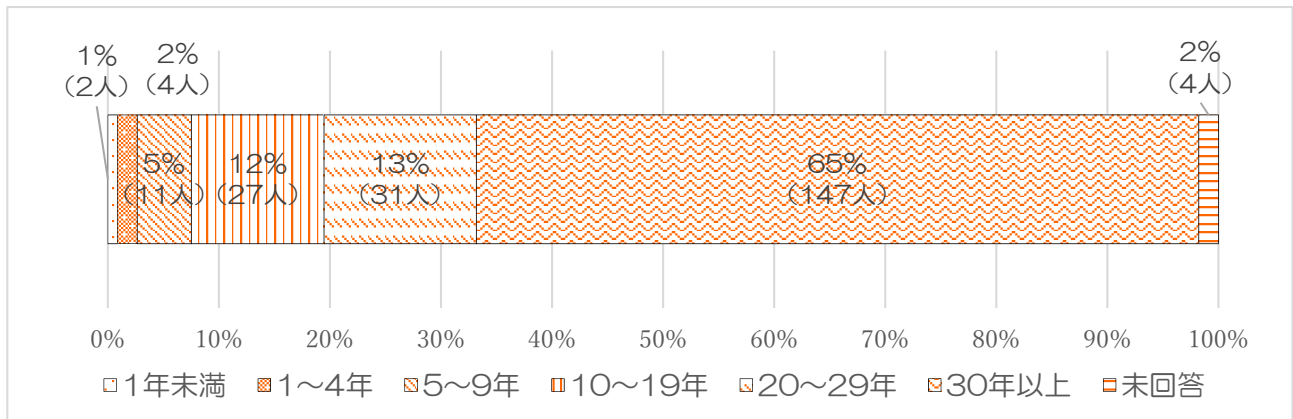
②<年齢>



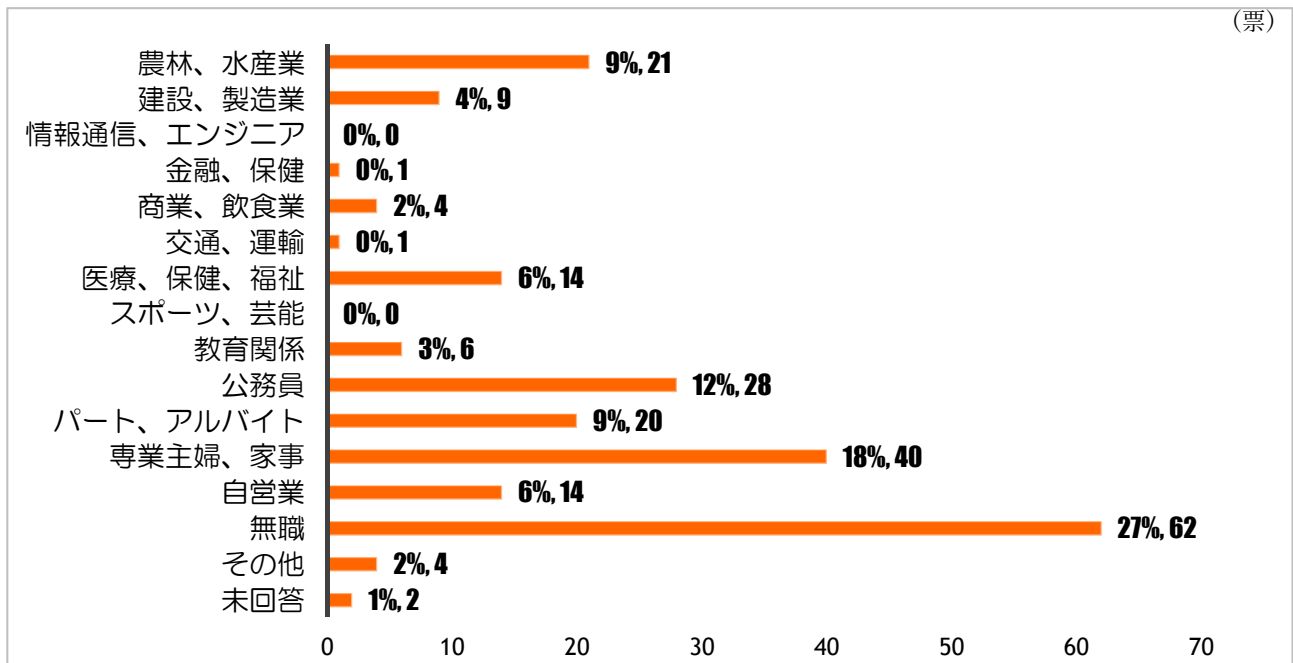
問2. あなたのお住まいの地区はどちらですか。



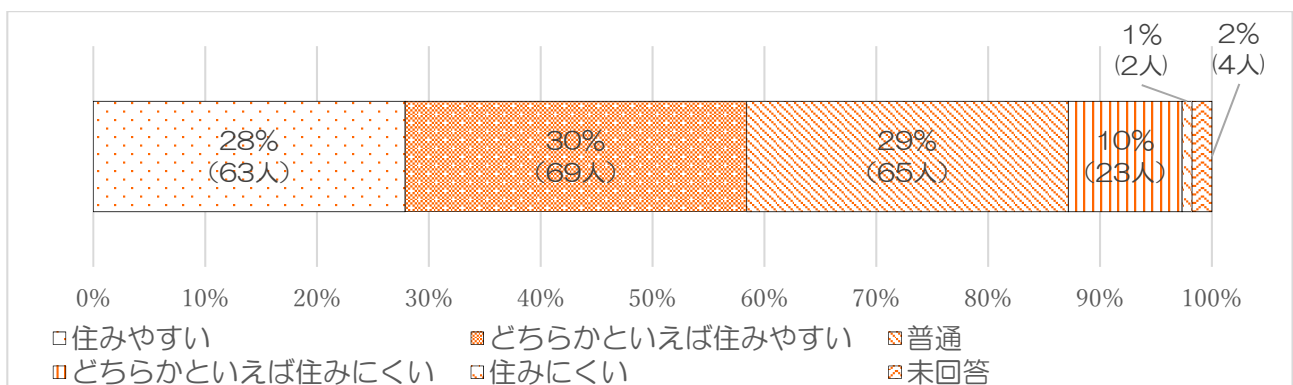
問3. あなたは、現在玉名市に何年お住まいですか？



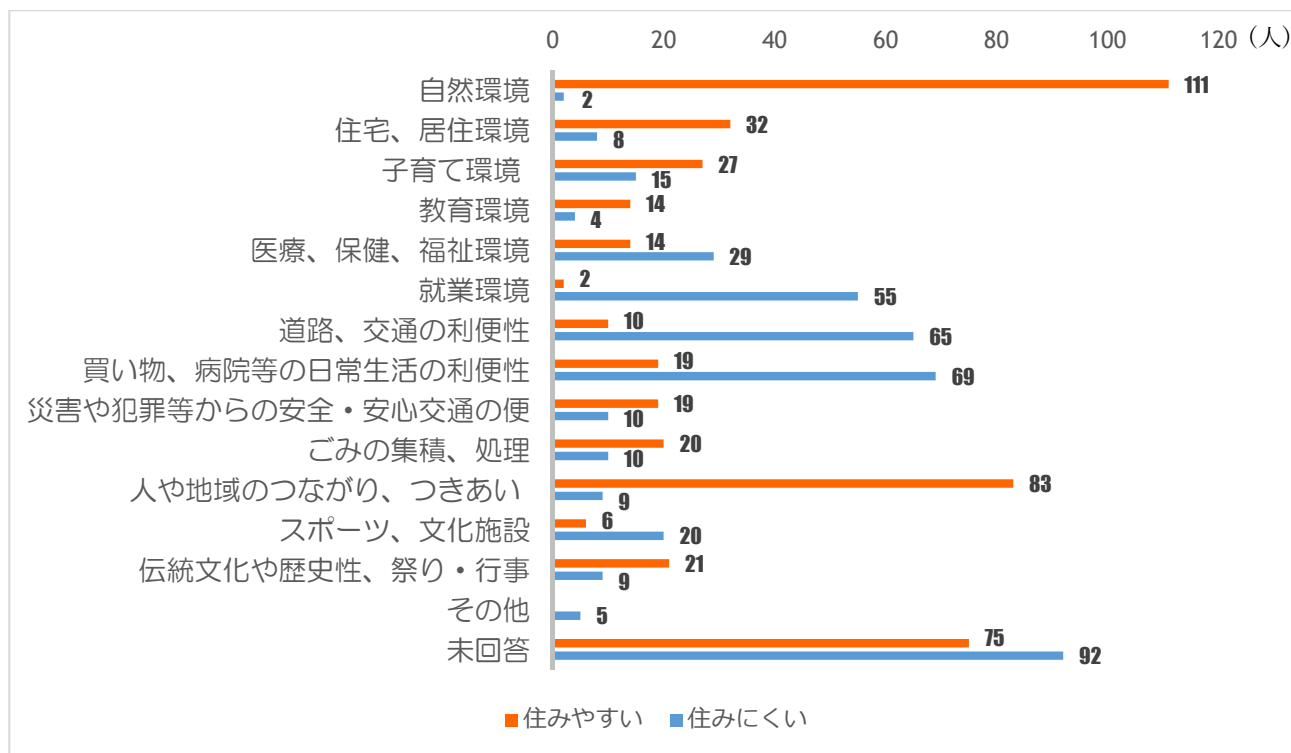
問4. あなたの職業をお答えください。



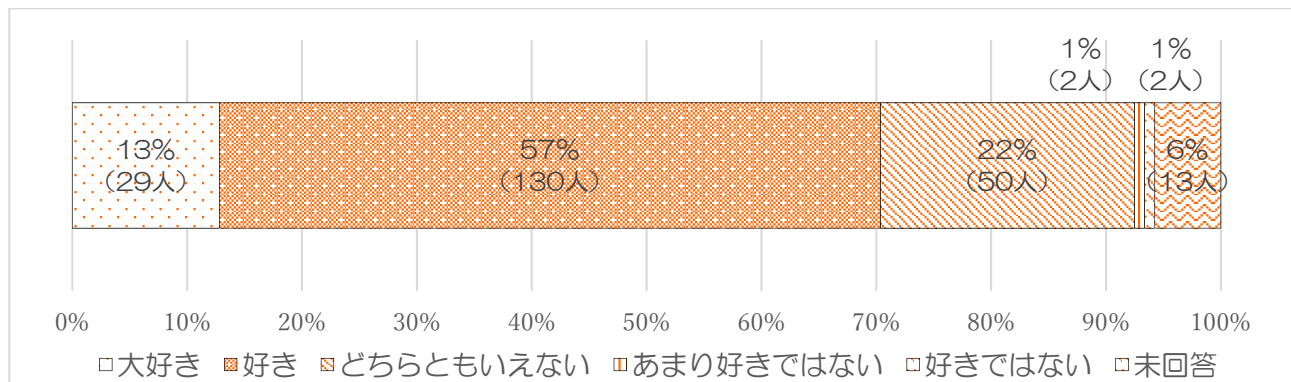
問5. 玉名市(あなたの住んでいる地区)の住み心地についてどう思いますか。



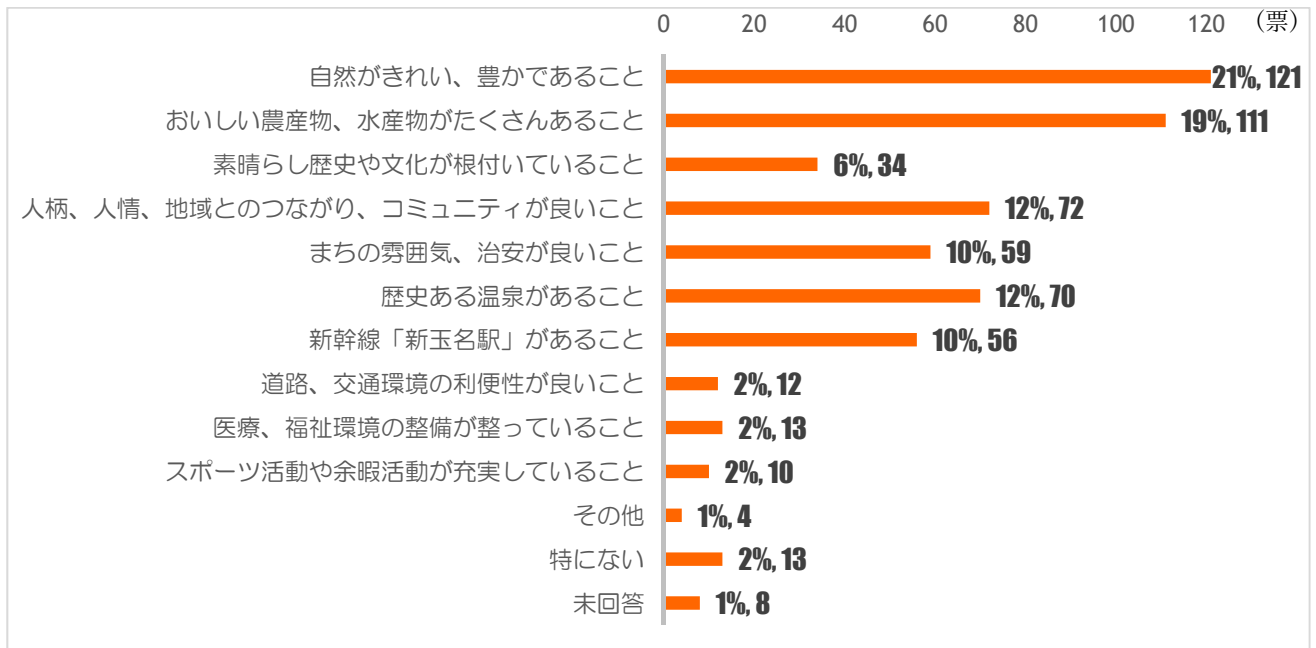
問6. 玉名市（あなたの住んでいる地区）の住みやすい、住みにくい理由は、どのような点だと思いますか。それぞれあてはまる番号を3つまで記入してください。



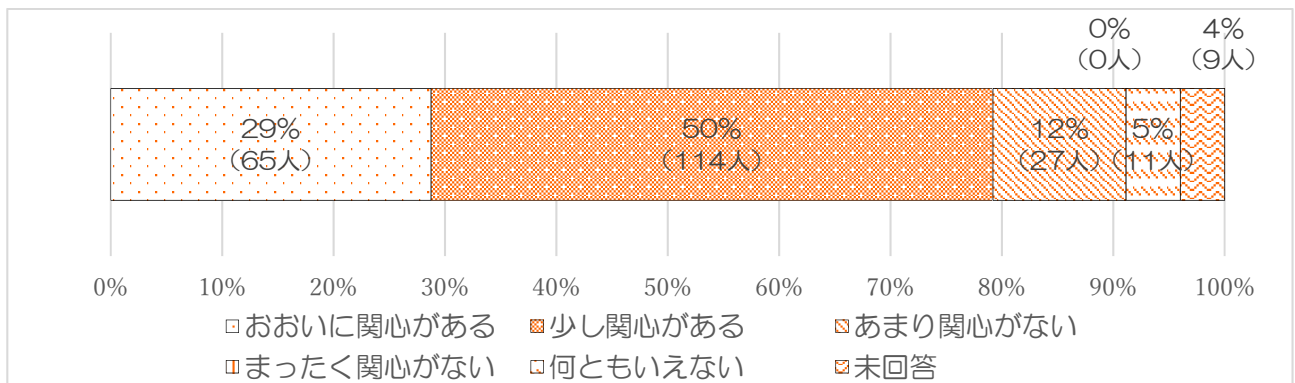
問7. あなたは、玉名市（あなたの住んでいる地区）が好きですか。



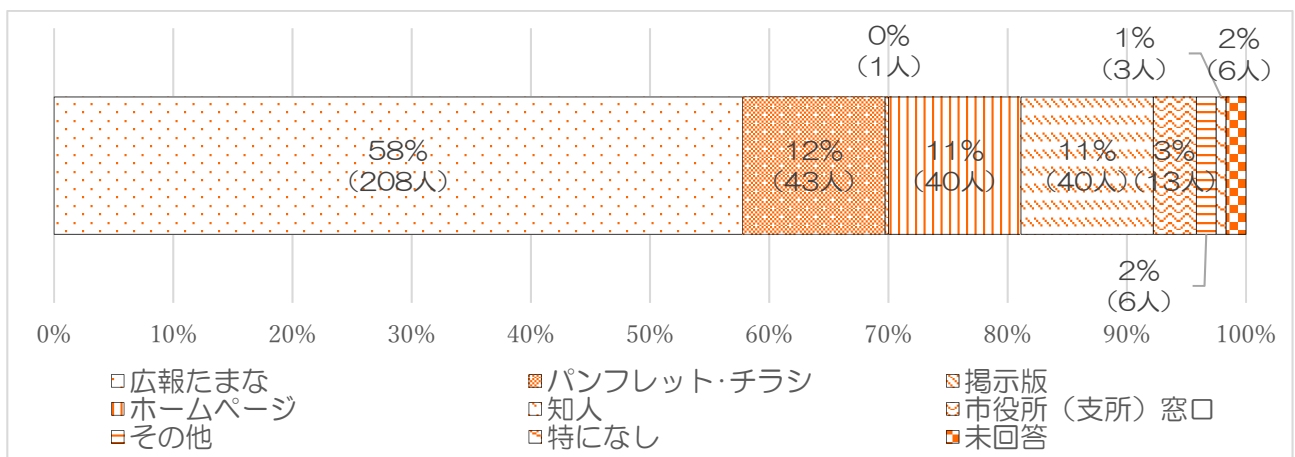
問8. 玉名市の魅力、誇れることは何ですか。



問9. あなたは現在の玉名市の市政に関心がありますか。



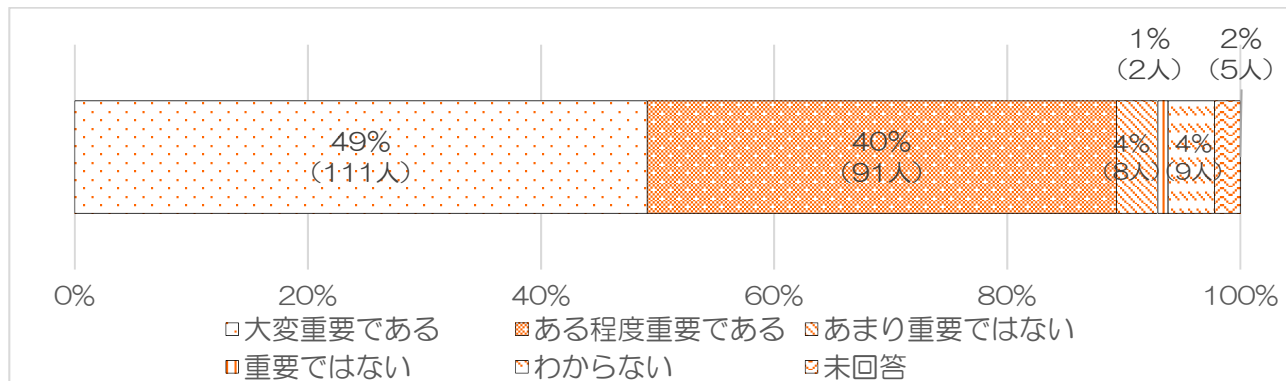
問10. 市政に関する情報の主な入手方法は何ですか。(複数選択可)



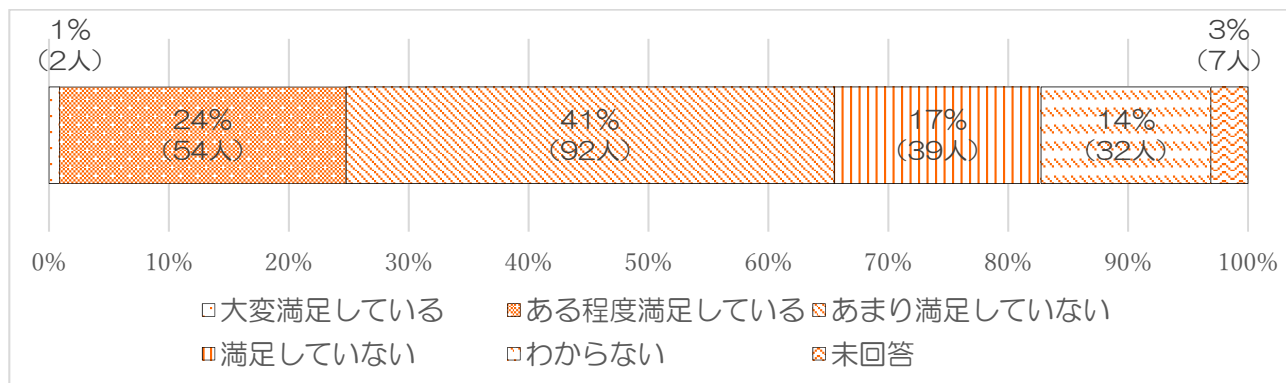
問 11. 現在、玉名市が取り組んでいる施策について、重要度と満足度をおたずねします。

① 雇用を創出するための施策

<重要度>

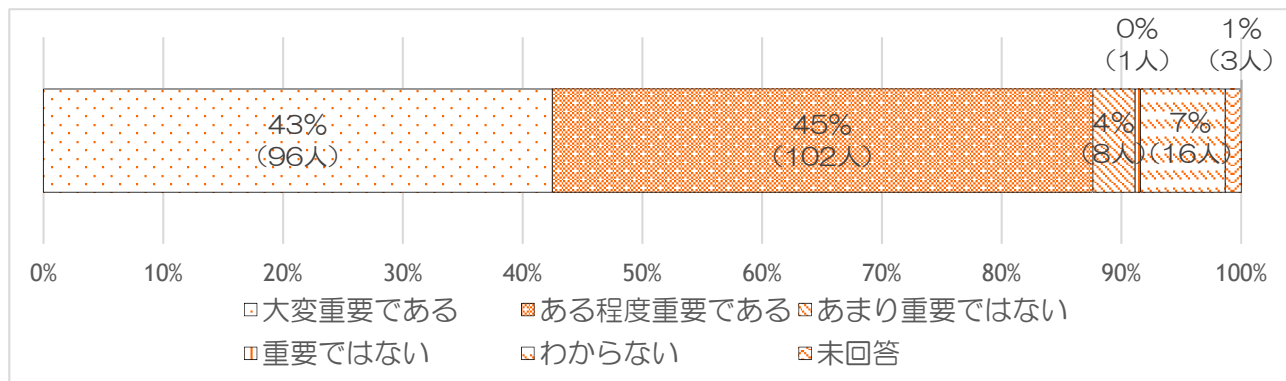


<満足度>

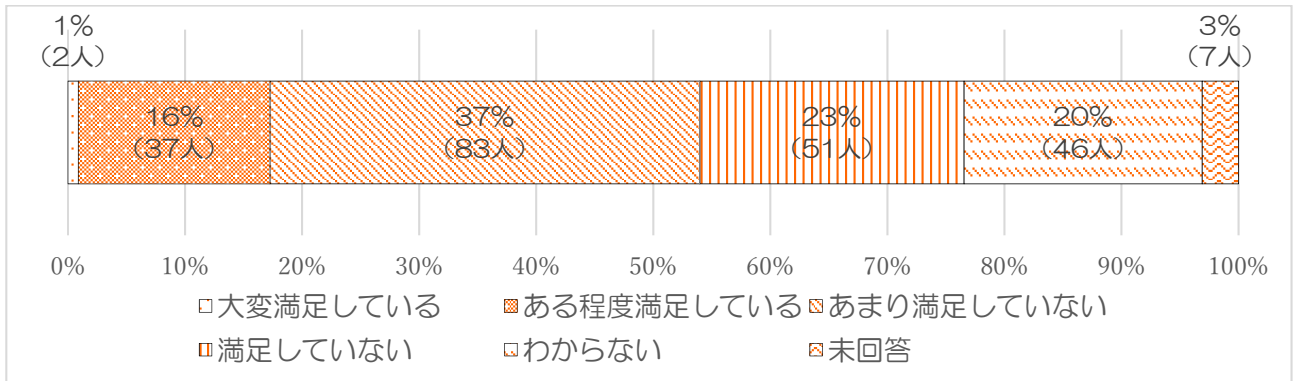


② 新たな人の流れを創るための施策

<重要度>

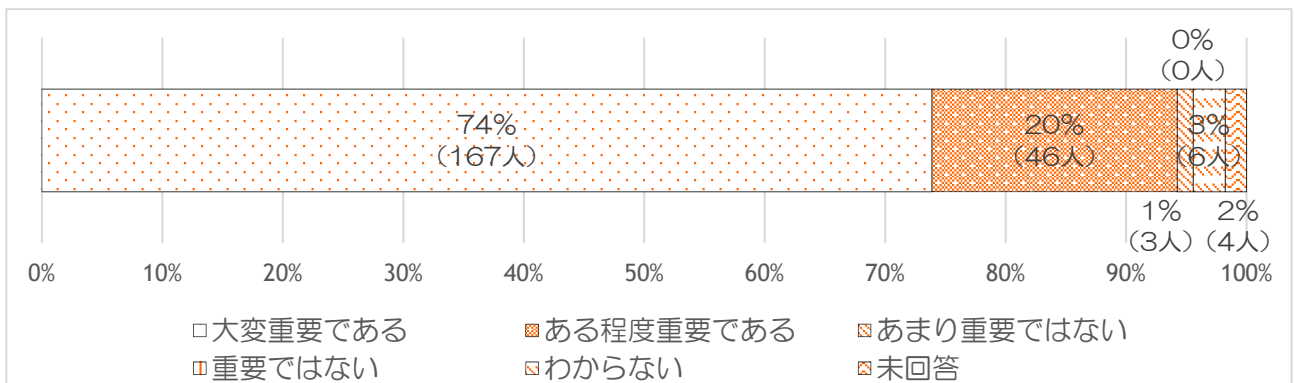


<満足度>

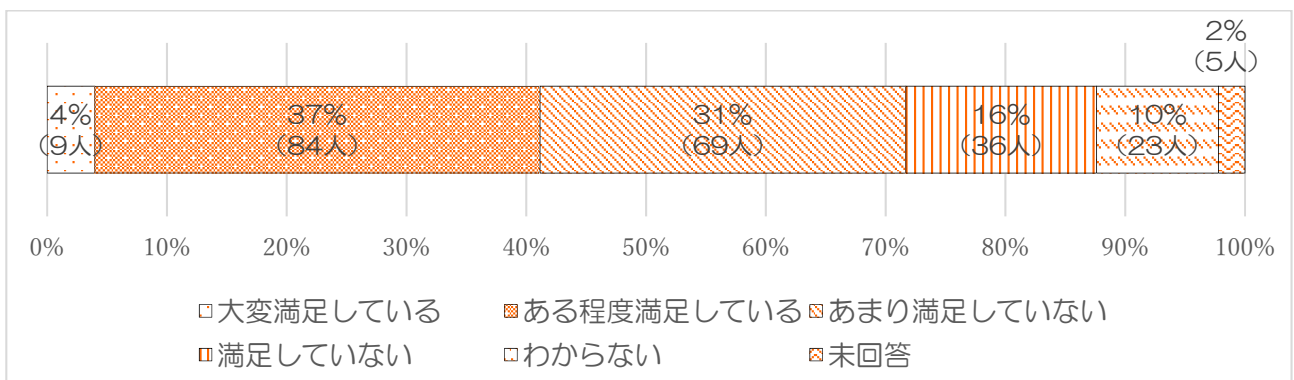


③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策

<重要度>

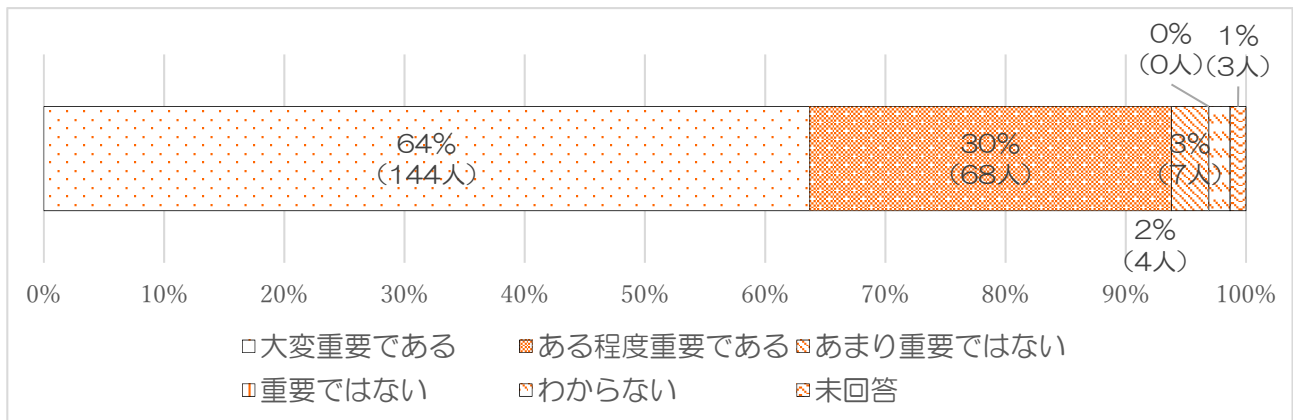


<満足度>

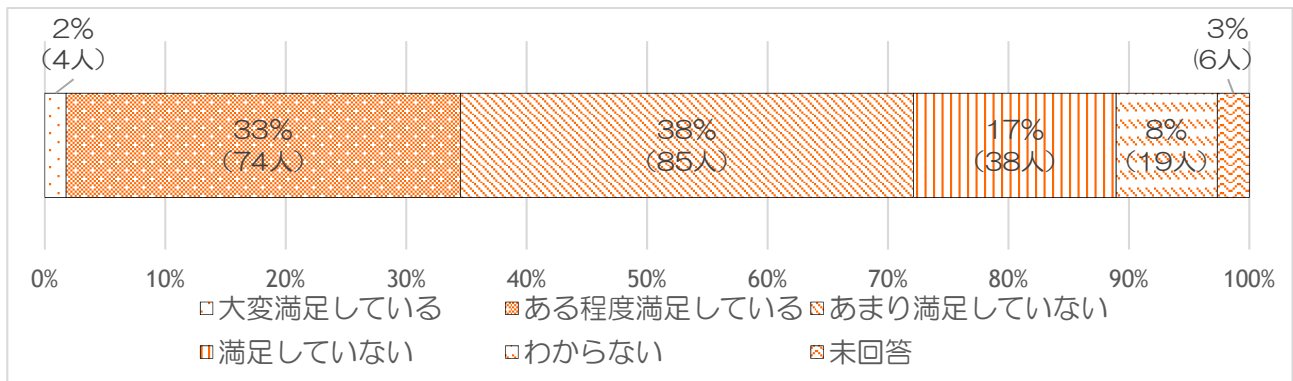


④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携するための施策

<重要度>



<満足度>



問 12. 問 11 の①から④の施策について、今後取り組んでほしい具体的な内容をご自由にお書きください。

- ・全体で 372 の意見が出ている。
- ・中でも「企業誘致・施設誘致」についての意見が多数出た。

● 問 12. 自由回答記載（一部意見の抽出）

・ 問 12-① 雇用を創出するための施策

休耕地を一括管理して大規模農業を進める企業の誘致支援
農業の後継者不足問題解消、田畑の荒廃防止
地元病院の九看大生推薦枠の増
ICT等先端技術に携わる技術者を受け入れる、アクティブシニアの活躍をあらゆる産業に
企業誘致よりも地場企業の育成強化が必要、中小企業1社持ってくるより地元事業所に刺激を与える施策を
働き手が欲しい農家が登録し、市が学生を募集し農家に割り当てる形のインターンシップ

・問 12-② 新たな人の流れを創るための施策

新たな飲食店、公園、屋内で遊べる施設など若者が住んでみたいと思うような街づくり
新玉名駅周辺に大型複合施設の誘致
新玉名駅周辺に住宅地造成し市外の若者を入居
新玉名駅周辺にマンションを建設し市外の若者を入居、福岡に住んでいる若者世帯に通勤圏と 感じてもらう
スポーツ、文化系の大会や遠征を誘致、合宿費の低料金化
散らばる商業施設を駅中心に再整備
肥後伊倉駅・大野下駅周辺の宅地整備や駅までの道路整備
市中心部以外でも若者が住みたいまちづくりを
玉名商店街の再活用、温泉、食べ歩き（高瀬町～駅通り）
空き家を活用し、リフォーム代を補助し低額で貸出又は譲渡等

・問 12-③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策

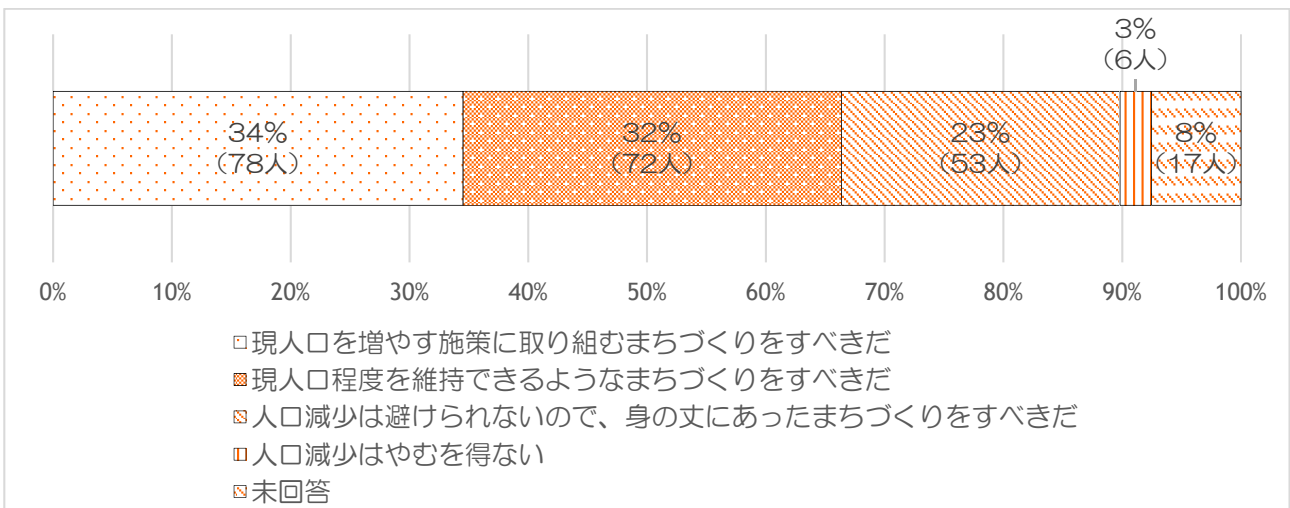
空き家を改築して低賃金で入居
各企業に託児所が普及しやすい施策
紙おむつの低価格化
休日に家族で気軽に出かけられる場所を作る（公園、屋内遊技場、児童館）
先進的な取組みを行う学校に支援を行う
結婚生活支援のための補助の充実（若い世代）
郊外にも子育て広場等の施設を開設
子育てがはじめての親の相談窓口や子育て経験者との話しや悩みを話せる場を設ける。
子育て世帯と子離れした高齢世帯の交流イベント
子どもを安心して預ける所を増やす
婚活、出会いの場を増やす
女性の経済面での基盤づくりと子育てしやすい環境づくり
長期休暇、夜間時の子どもを預け先の充実、保育士の待遇改善
不妊治療の補助充実
夜間小児科医療の充実、親子イベントの拡大
保育所の建替えの早期実現

・問 12-④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連
携するための施策

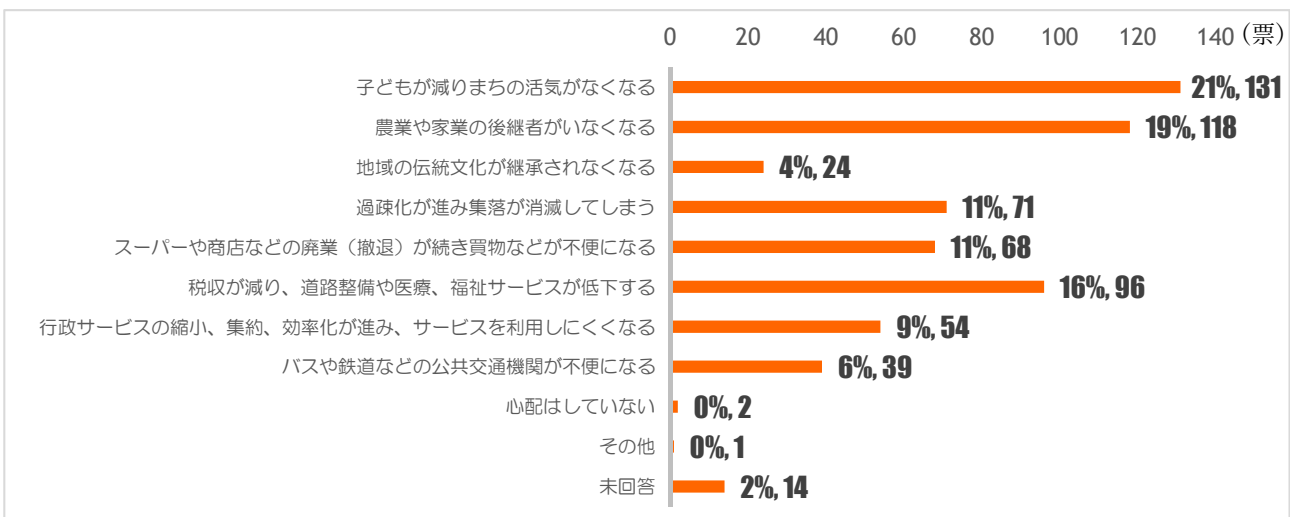
いちごタクシー、みかんタクシーは時間が正確でないので学生には利用しづらい
いちごタクシーの便数を増加
買物等交通不便のため地域サポートができる施策
公共交通網の整備、しおかぜタクシーは面倒、市役所まで行かないので不便
高齢者にタクシー料金割引を常に。乗合タクシーの停留所を増やしてほしい
小学生の登下校の見守りを増やして安心な暮らしを守る

通学路の整備、街灯の設置、横断旗の設置
高齢ドライバーの自動運転、事故防止機能車両の補助
小型バスでの高齢者向け病院、買物支援
しおかぜタクシーはある程度評価できるがもっと希望にそった場所に乗降してほしい
バスを利用することでポイントがたまるシステムや、バスを使ったイベントの開催
一人暮らし、お年寄が気楽に集う場所をつくる
福祉タクシーの充実
古い街並みの区画整理
運転免許返納者に対し交通費の補助
防犯灯、防犯カメラの充実

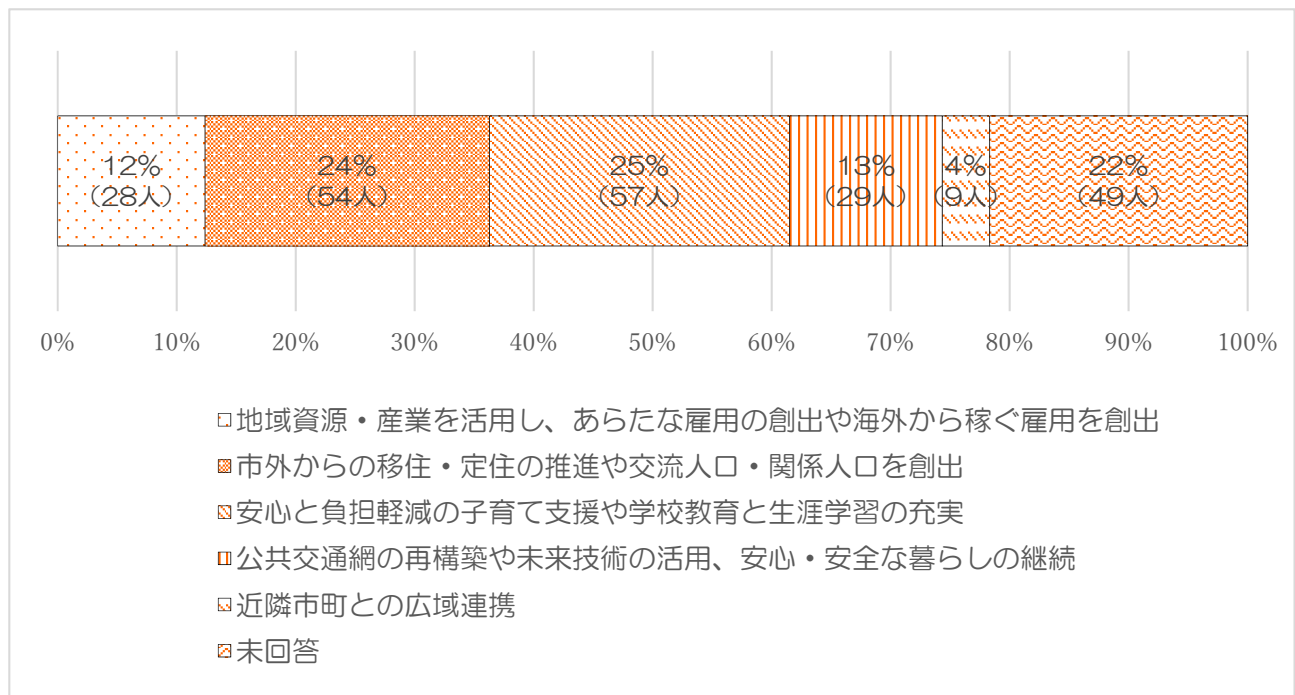
問 13. あなたは、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、このままでは本市人口は 2030 年には、57,000 人台（8 月 31 日現在、66,184 人）になるという調査結果がありますが、人口減少への対応方針についてどう考えますか。



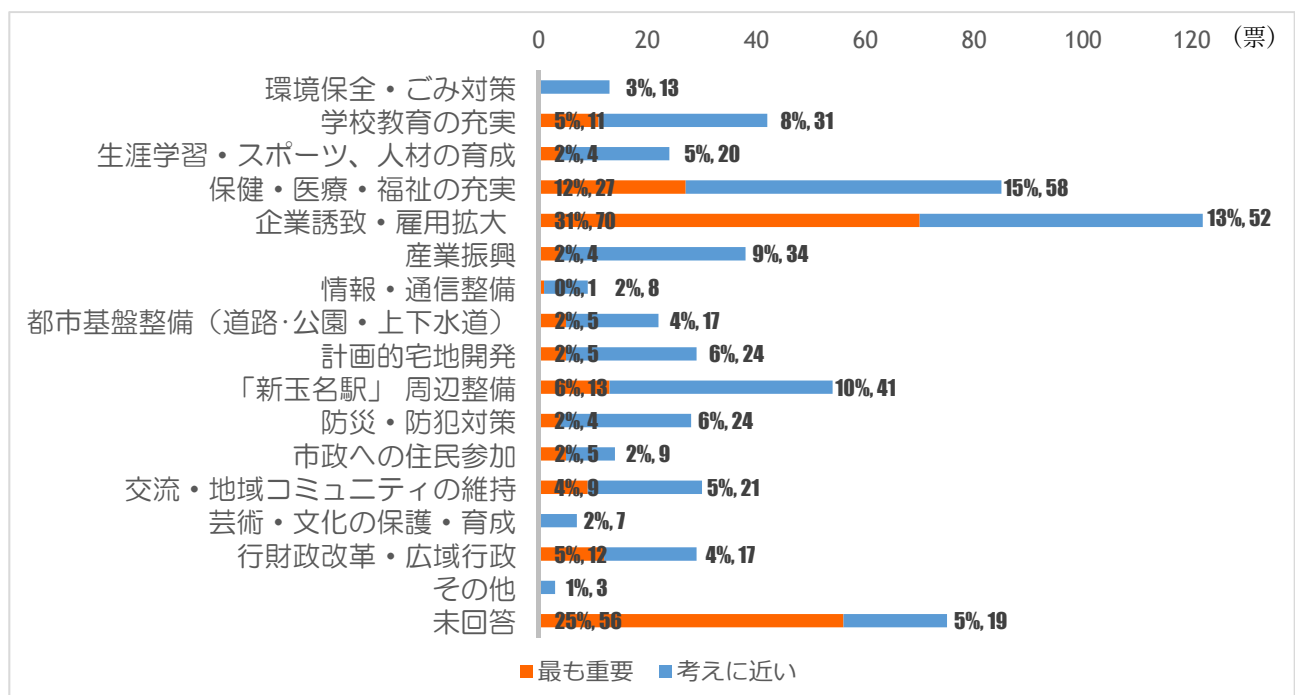
問 14 このまま人口が減少した場合に懸念されることは何だと思えますか。
（重要と思われるものを3つ）



問 15. 人口減少と高齢化社会に対応したまちづくりを行うため、重要な対策（施策）は何だと思えますか。



問 16. 今後の市政運営において、特に力を入れてほしいことはどのような点ですか。



Ⅲ 玉名市内の高校に通学する皆さんへのアンケート調査 概要

1. 調査目的

本調査は、「玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和元年度で終了することに伴い、次期総合戦略の策定に向けて、大人の様々な制約にとらわれない自由な発想とこれからの未来を担う若い世代（高校生）の知恵や貴重な意見をお尋ねし、次期総合戦略策定の基礎資料に取り込むために実施した。

2. 調査項目

- (1) あなたのことについて
- (2) 将来のことについて
- (3) 玉名市のことについて

3. 調査設計

- (1) 調査地域 玉名市全域
- (2) 調査対象 市内高校 5校
(玉名高校、専修大学玉名高校、玉名女子高校、玉名工業高校、北稜高校)
- (3) 標本数 250件
- (4) 調査方法 各学校に対し配布
- (5) 調査時期 令和元年10月1日～10月17日

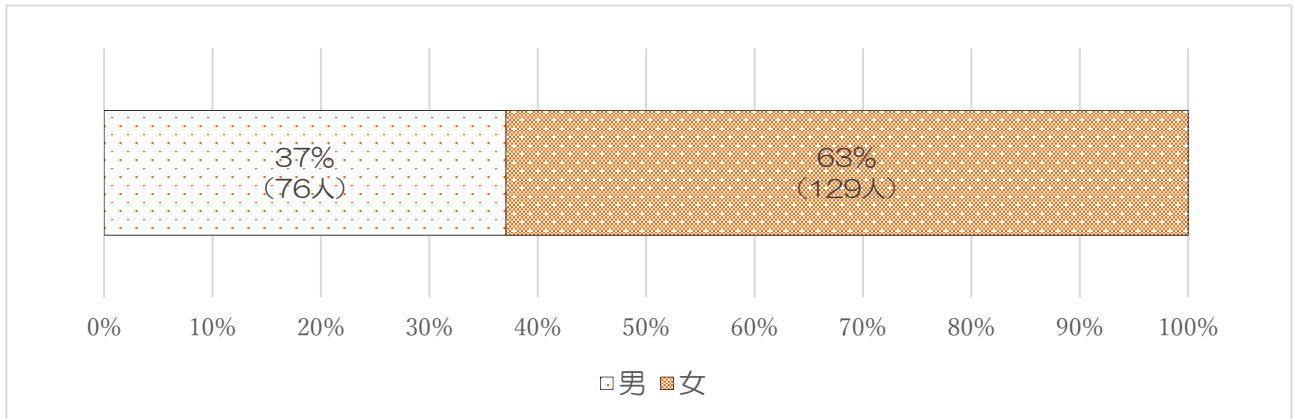
4. 回収状況

- (1) 標本数 250件
- (2) 有効回収数 205件 (82%)

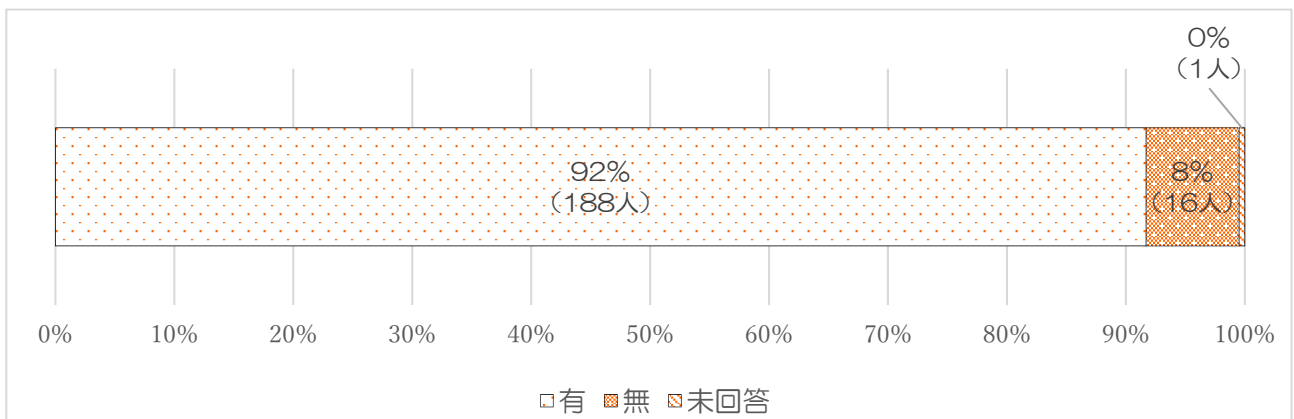
●玉名市内の高校に通学する皆さんへのアンケート調査結果

問 1. 性別と兄弟・姉妹

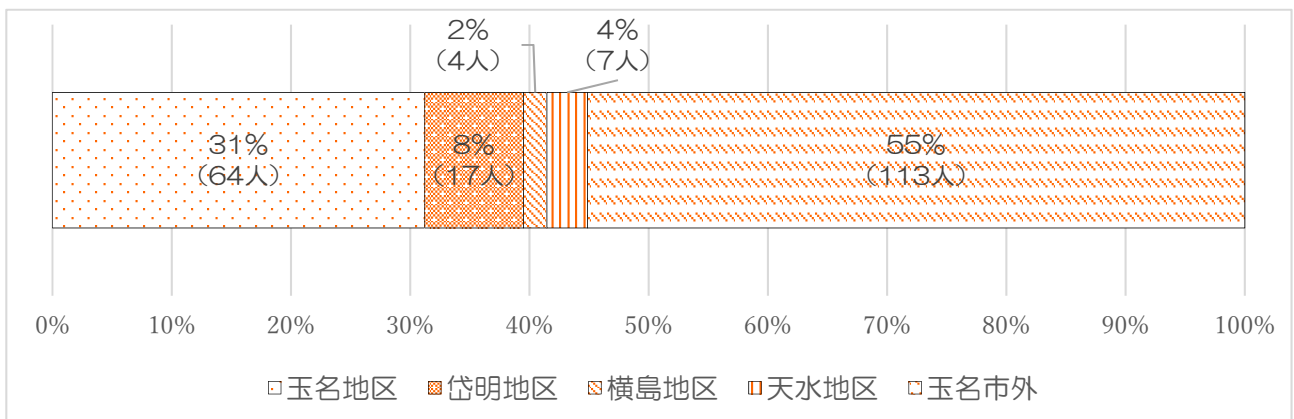
①<性別>



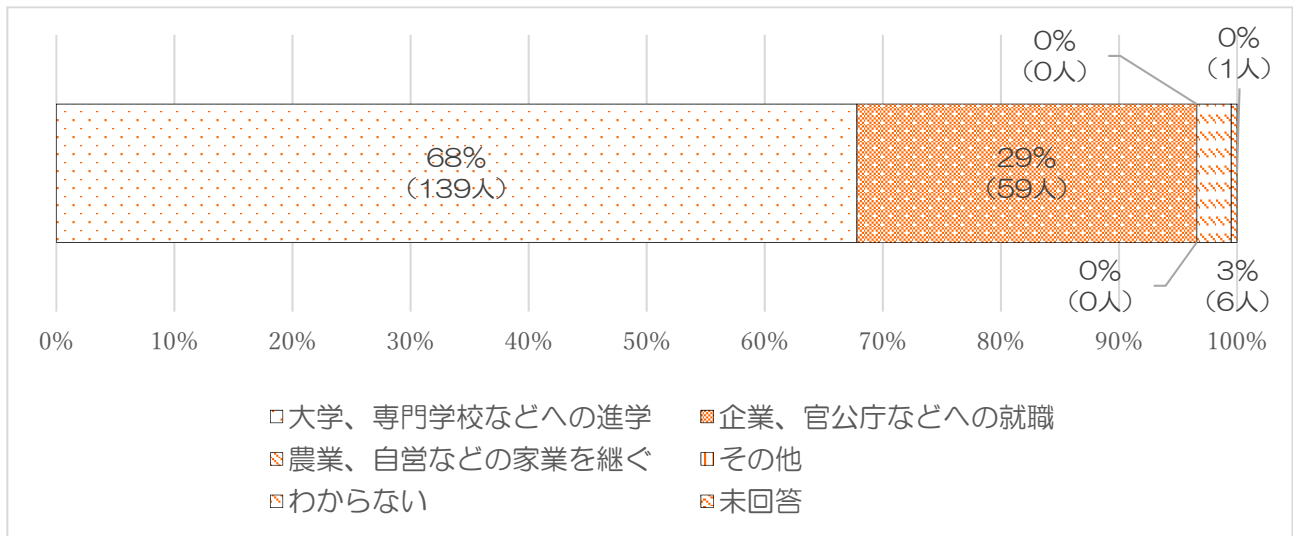
②<兄弟>



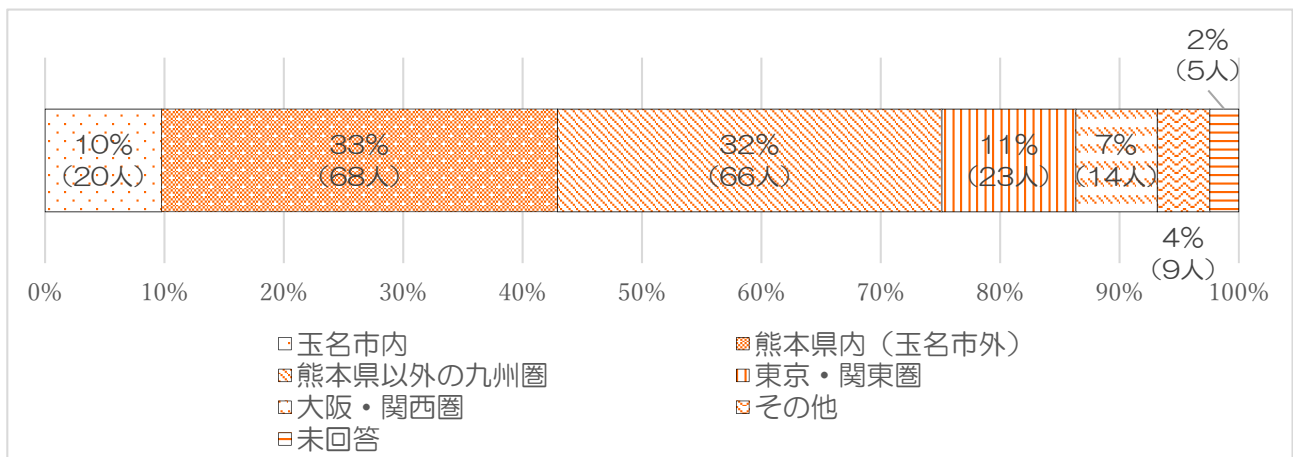
問 2. お住まいの地区



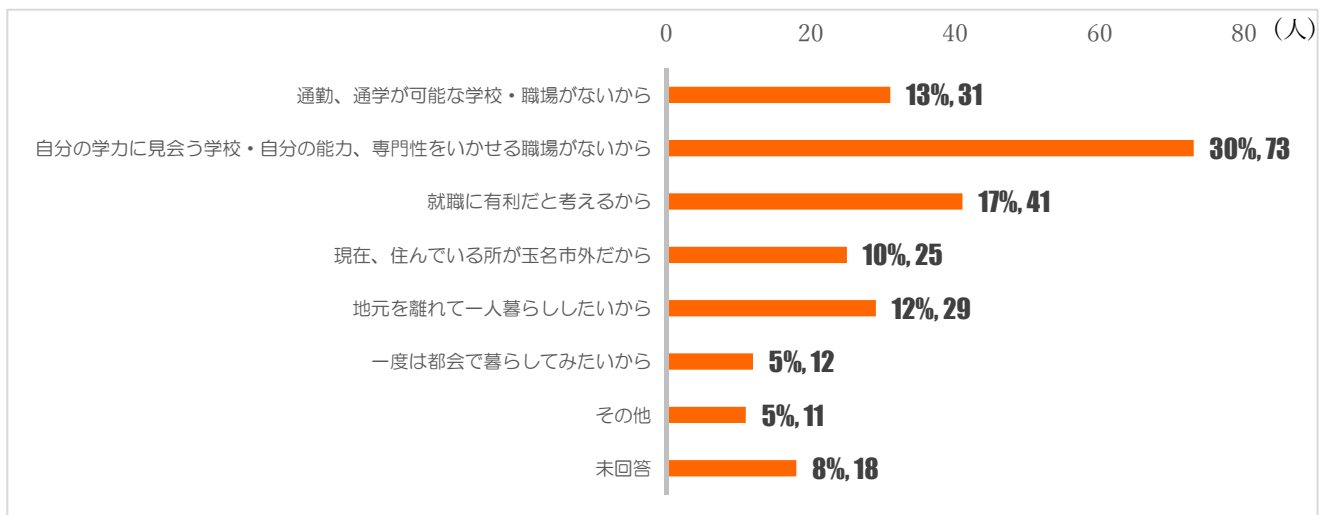
問 3. 学校卒業後の進路希望（最も希望するものを1つ選択）



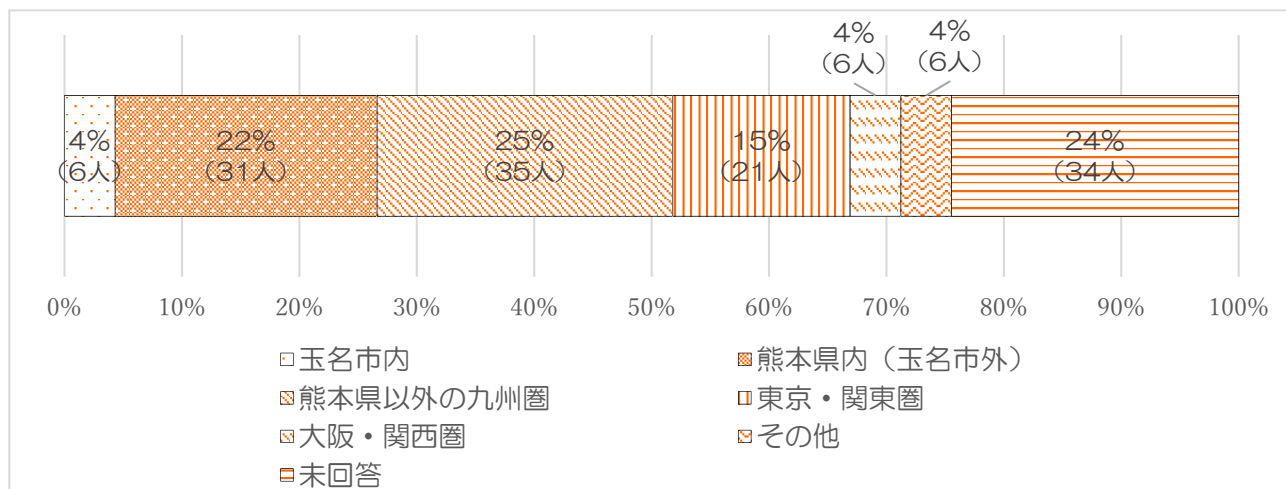
問 4. 進路を希望する地域（最も希望する地域を1つ選択）



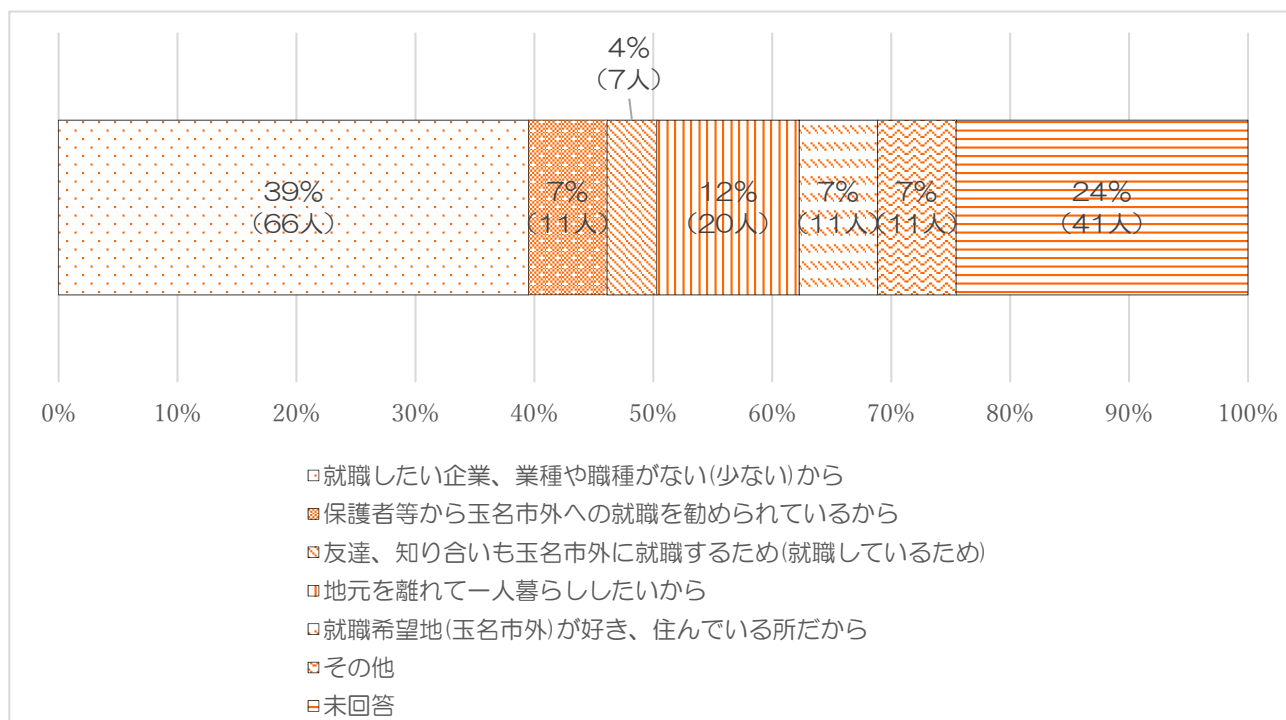
問 5. 問4で「玉名市内」以外を選択した理由（複数選択可）



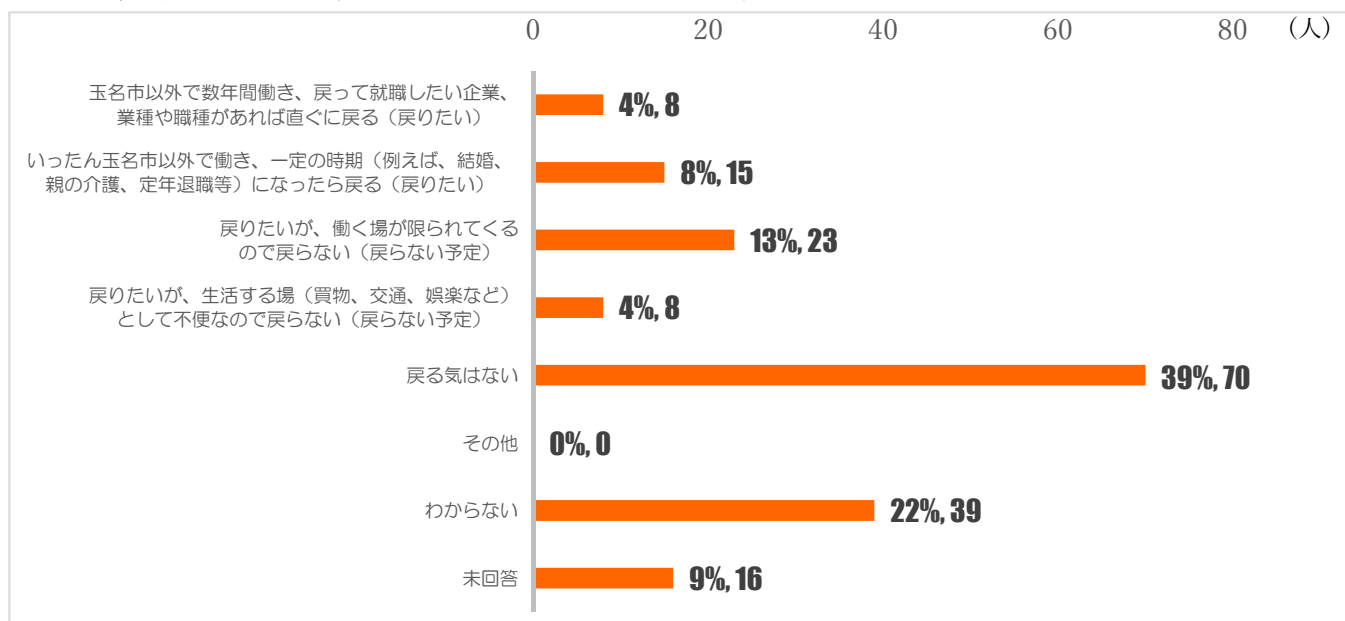
問 6. 問 3 で「大学・専門学校などへの進学」を選択した方にお聞きします。
 就職を希望する地域(最も希望する地域を 1 つ選択)



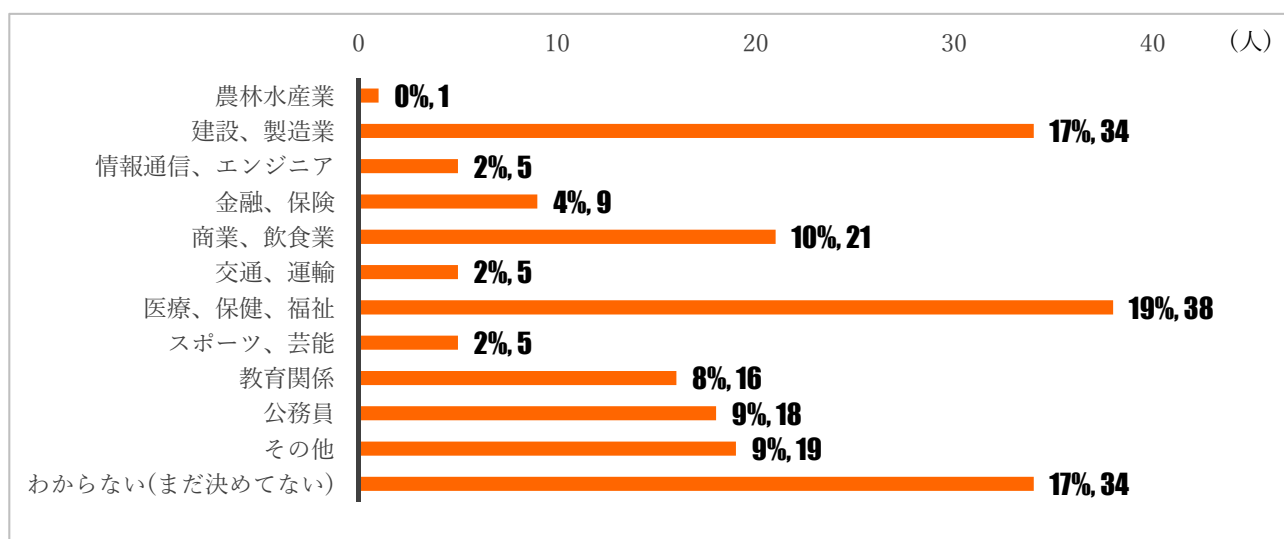
問 7. 問 6 で「玉名市内」以外を選択した方にお聞きします。
 「玉名市外」を希望する理由(複数選択可)



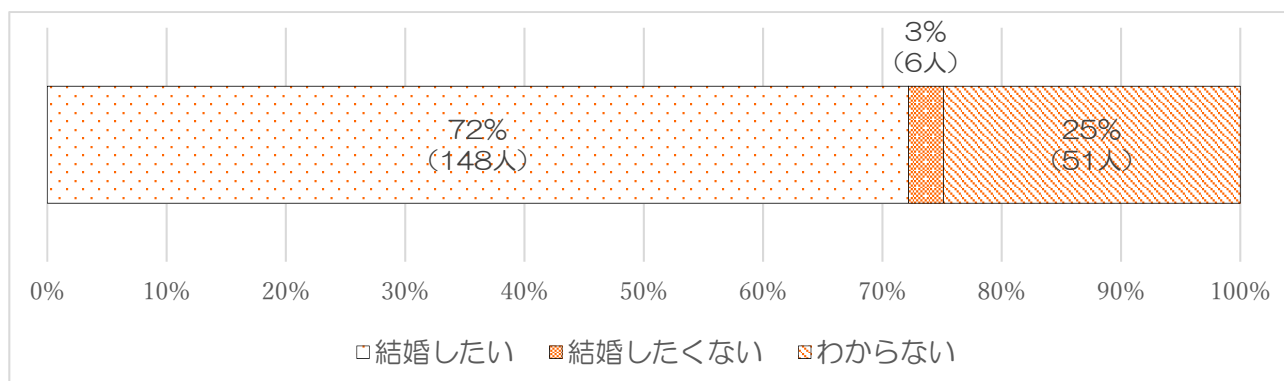
問 8. 問4又は問6で「玉名市内」以外を選択した方にお聞きします。
将来的に玉名市に戻りたいと思いますか。



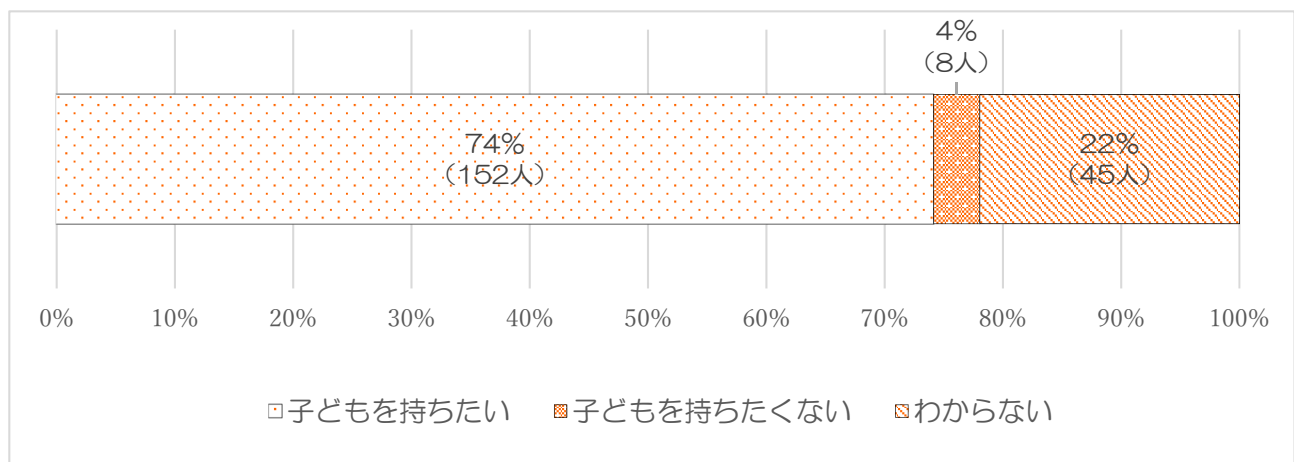
問 9. 将来希望する職業・職種



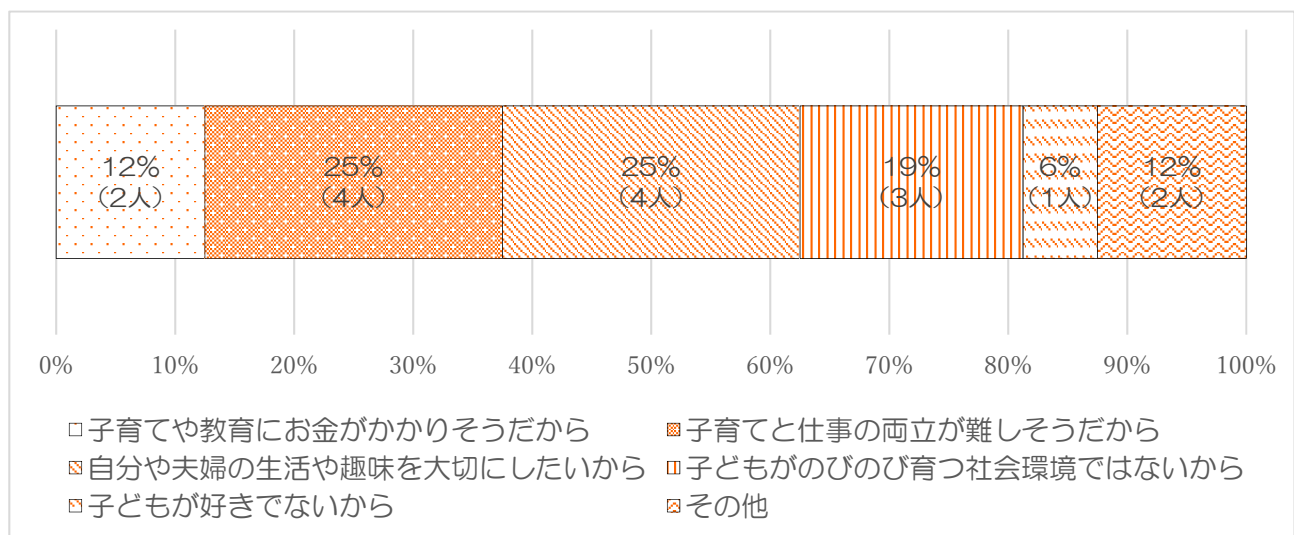
問 10. あなたは将来、結婚したいと思いますか。



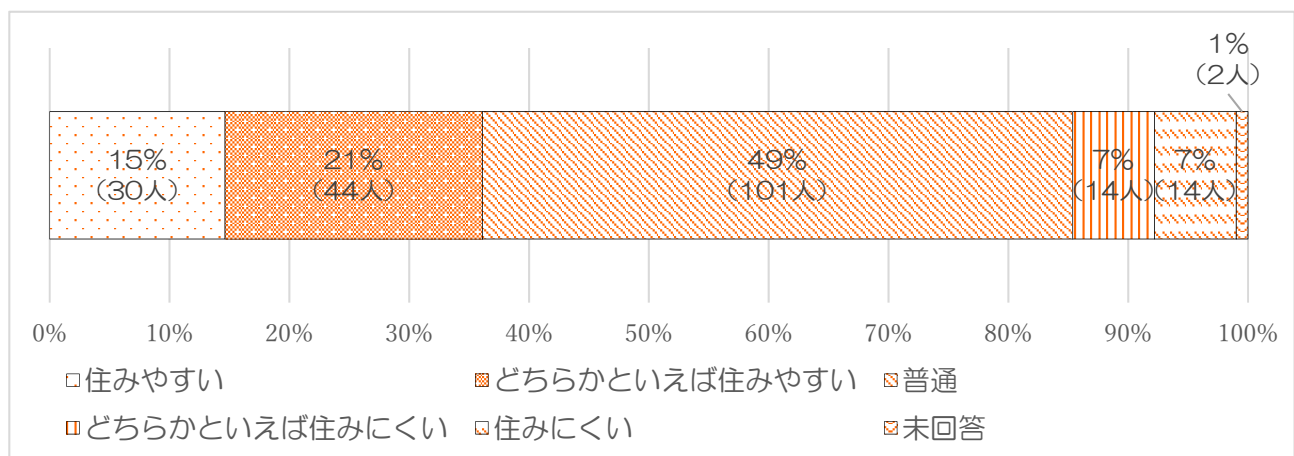
問 11. あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。



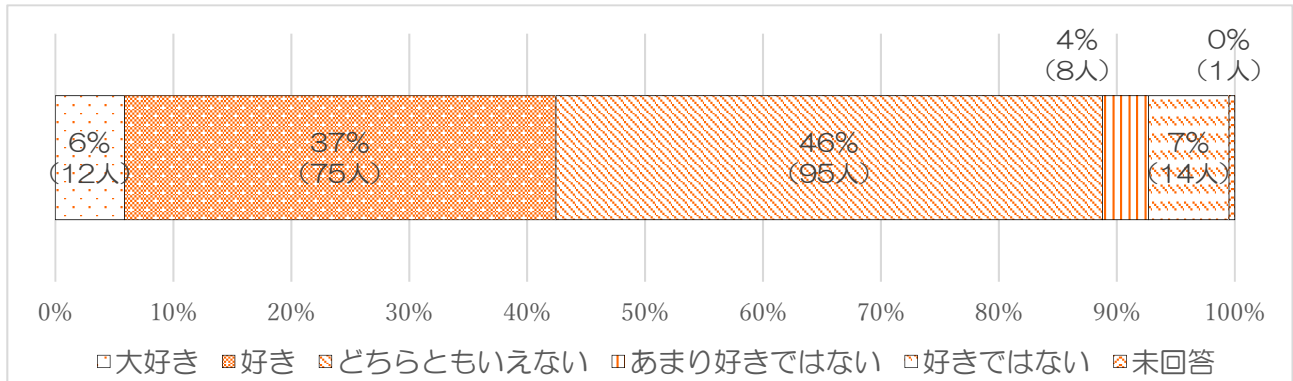
問 12. 問 11 で「子どもを持ちたくない」を選択した方にお聞きします。
その理由（複数選択可）



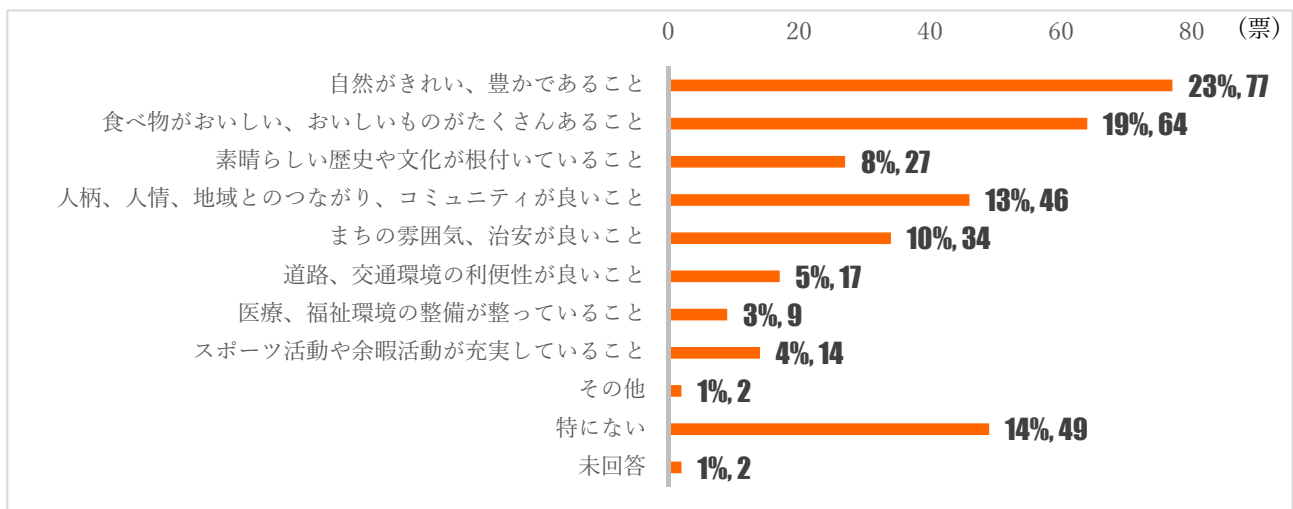
問 13. あなたは、玉名市が住みやすいまちだと思いますか。



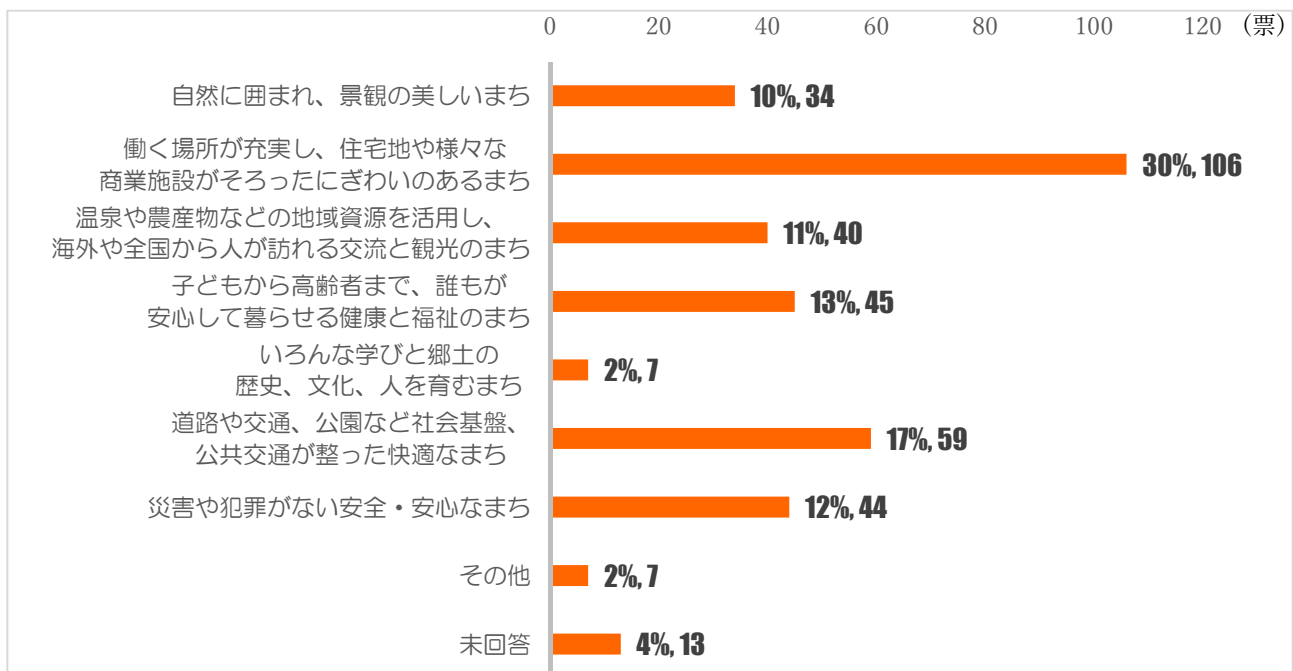
問 14. あなたは、玉名市が好きですか。



問 15. 玉名市の魅力、誇れることは何ですか。（複数選択可）



問.16. これから（これからも）玉名市で住み続けるとしたらどのようなまちになってほしいと思いますか。（最もあなたの考えに近いもの2つ選択）



問 17. 今後、人口減少に歯止めをかけ、誰もが活力と魅力を感じる玉名市にするには、どのようなことを積極的に取り込むべきだと思いますか。普段感じる率直な意見を教えてください。(自由記載)

- 全体で 131 の意見が出た。
- 「商業施設、娯楽施設の誘致」、「玉名駅、新玉名駅周辺の整備」、「公共交通の整備」などの意見が多数出ている。

● 自由回答記載 (一部意見抽出)
荒尾、長洲と合併し観光業に積極的に取り組む
イベントを増やす、商店街を復活して明るい市とする
大型商業施設の誘致
交通網の充実
子どもからお年寄までが交流できるような施設を増やす
保育施設の拡充と保育士の優遇

Ⅳ 九州看護福祉大学で学んでおられる学生の皆さんへのアンケート調査概要

1. 調査目的

本調査は、「玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が令和元年度で終了することに伴い、次期総合戦略の策定に向けて、最高学府で学んでおられる学生の皆様の未来志向の視点から貴重な意見をお尋ねし、次期総合戦略策定の基礎資料に取り込むために実施しました。

2. 調査項目

- (1) あなたのことについて
- (2) 将来のことについて
- (3) 玉名市のことについて

3. 調査設計

- (1) 調査地域 玉名市全域
- (2) 調査対象 九州看護福祉大学 学生
- (3) 標本数 300件
- (4) 調査方法 九州看護福祉大学学友自治会へ配布
- (5) 調査時期 令和元年10月1日～10月31日

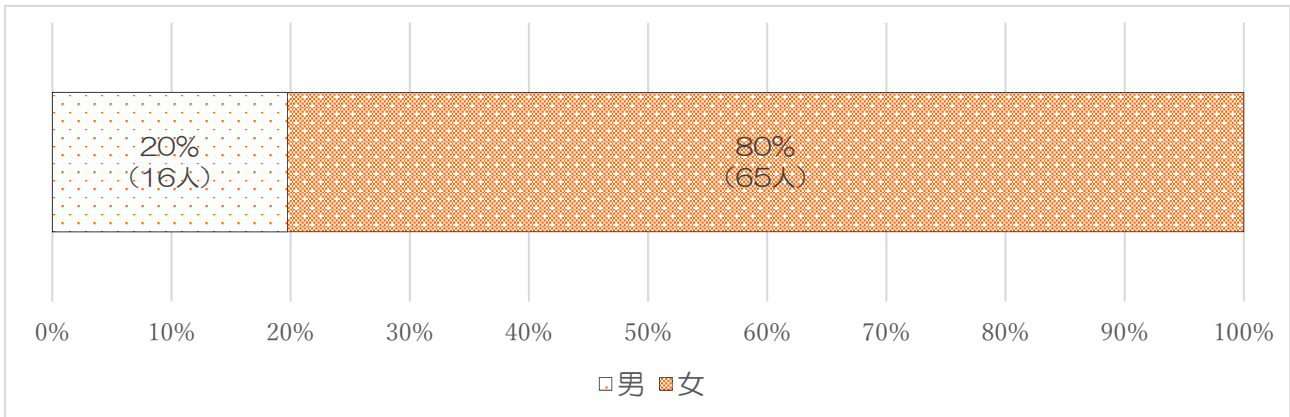
4. 回収状況

- (1) 標本数 300件
- (2) 有効回収数 81件 (27%)

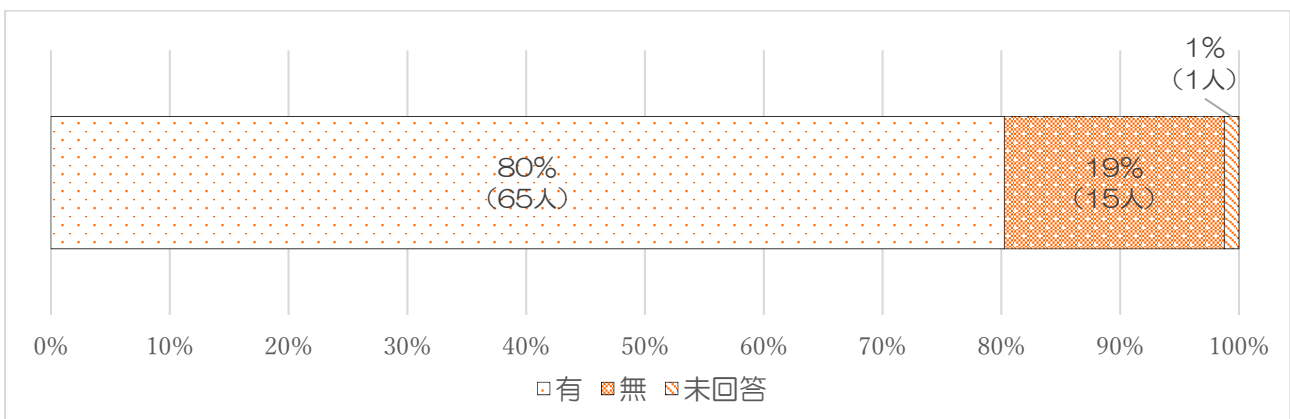
●九州看護福祉大学で学んでおられる学生の皆さんへのアンケート調査結果

問 1. 性別と兄弟姉妹

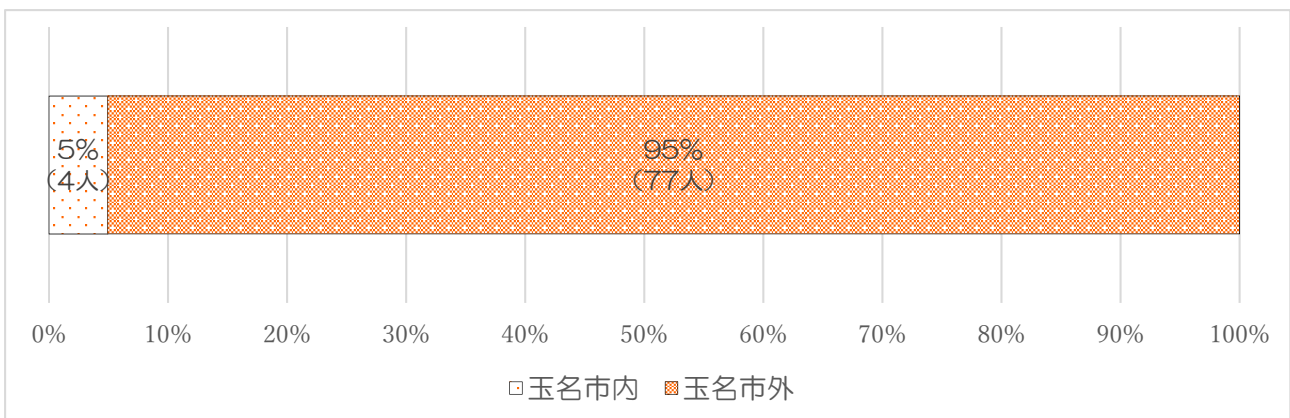
①<性別>



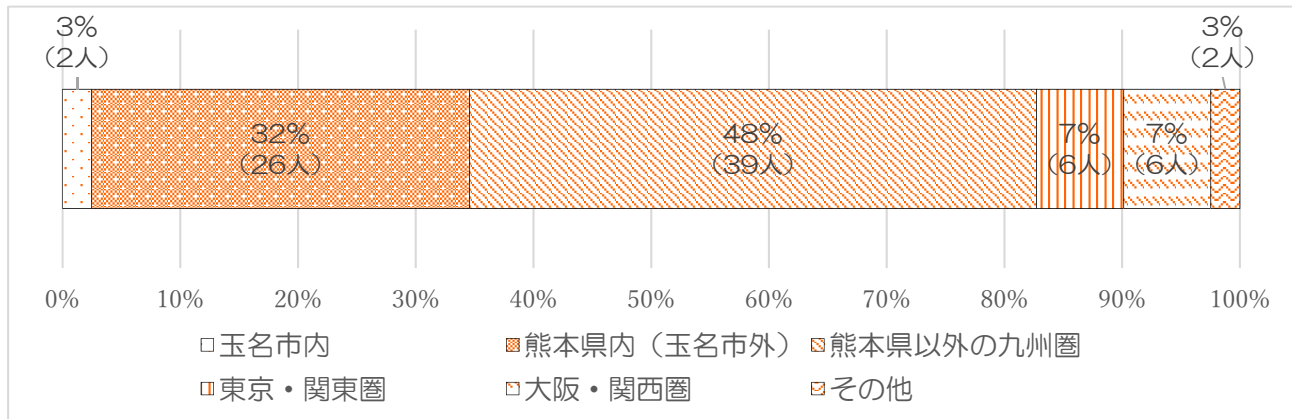
②<兄弟>



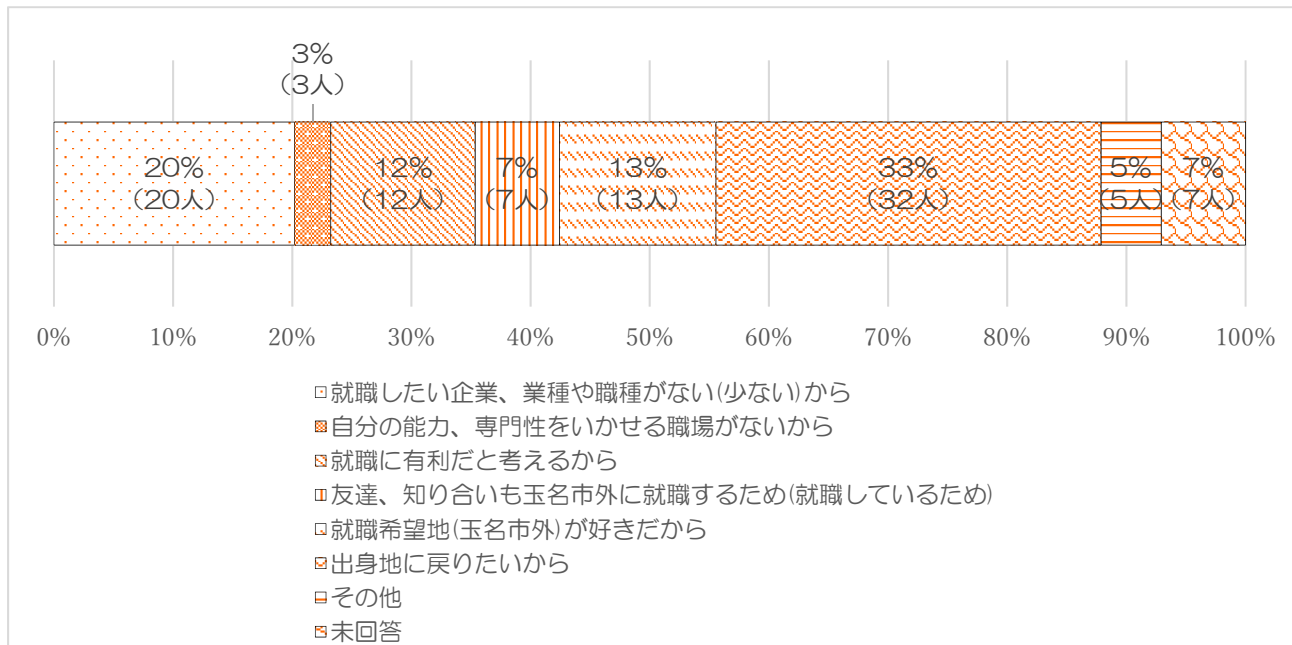
問 2. 出身地区



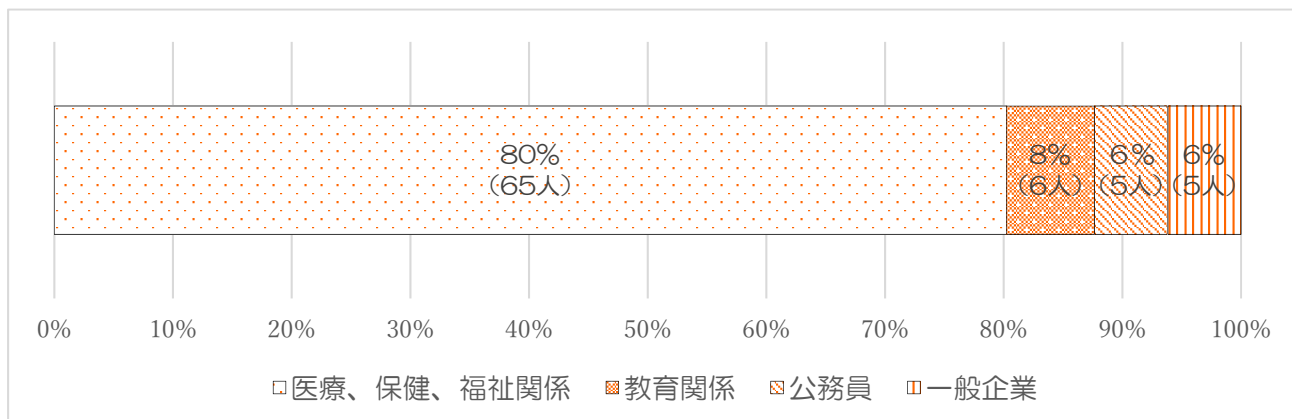
問3. 進路を希望する地域(最も希望する地域を1つ選択)



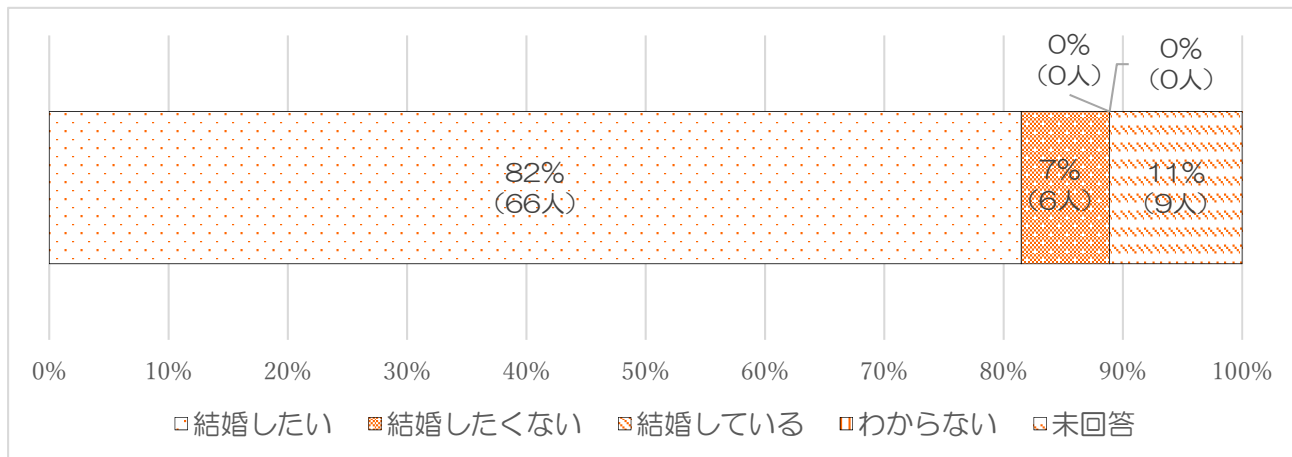
問4. 問3で「玉名市内」以外を選択した理由(複数選択可)



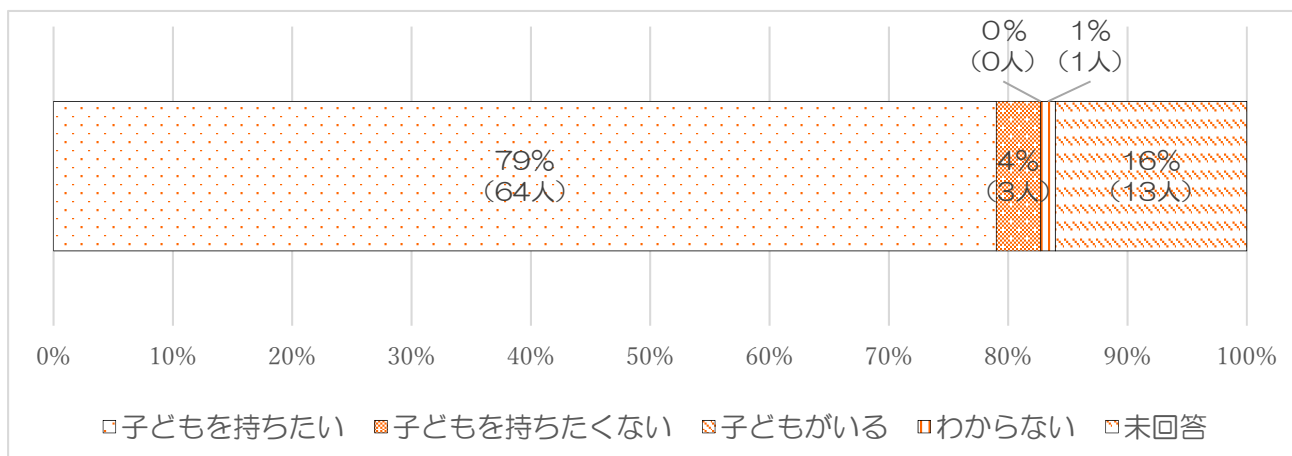
問5. 将来希望する職業・職種



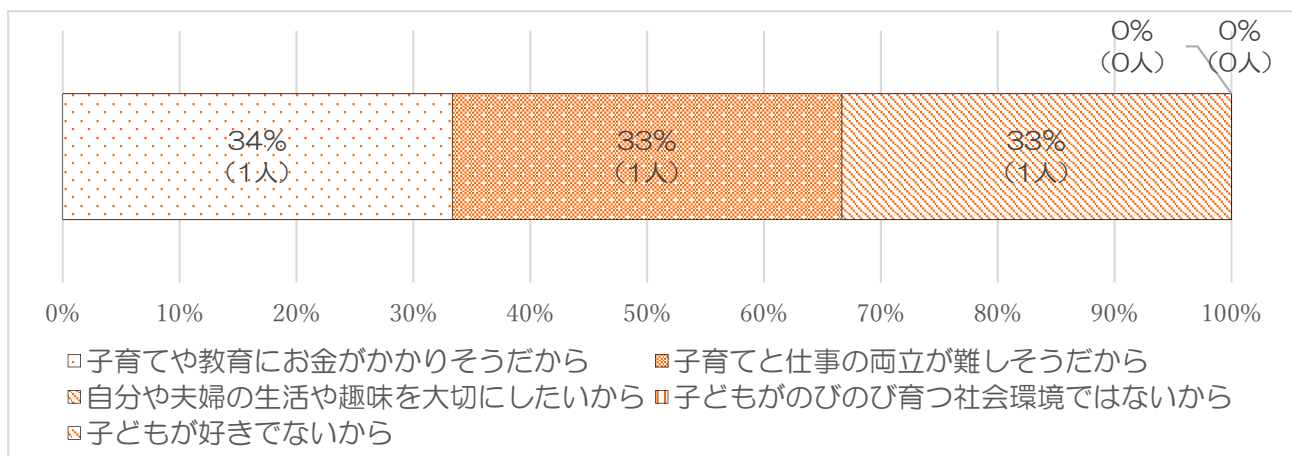
問6. あなたは将来、結婚したいと思いますか。



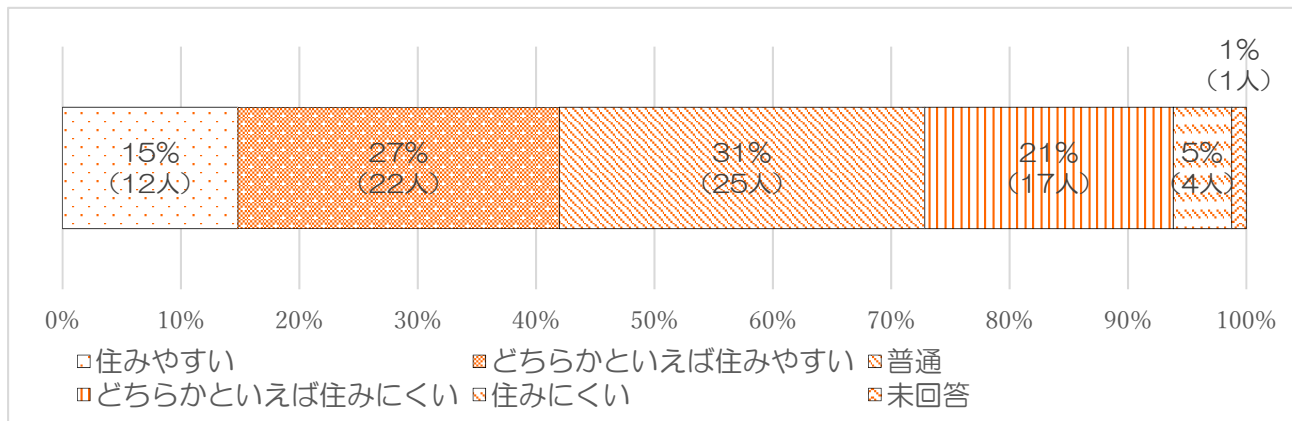
問7. あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。



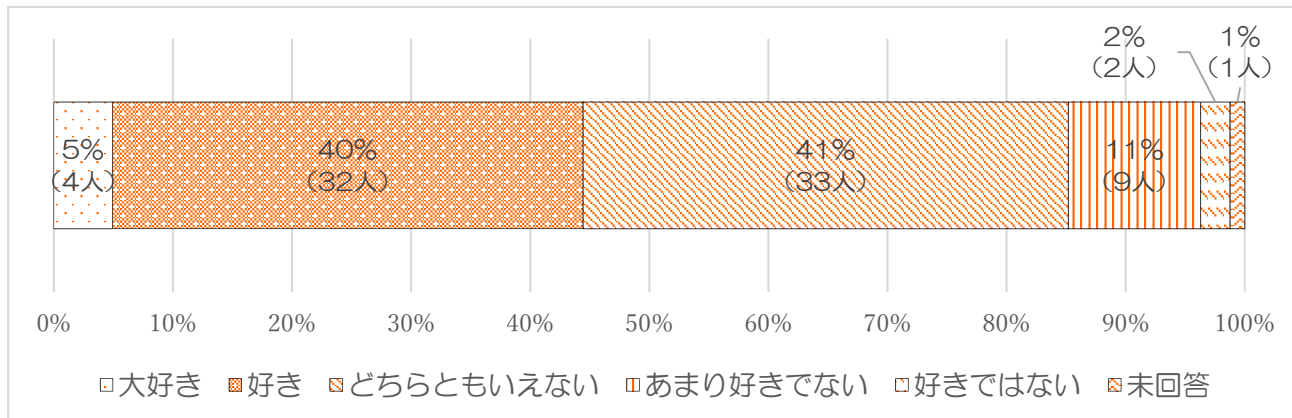
問8. 問7で「2.子どもを持ちたくない」を選択した方にお聞きします。
その理由(複数選択可)



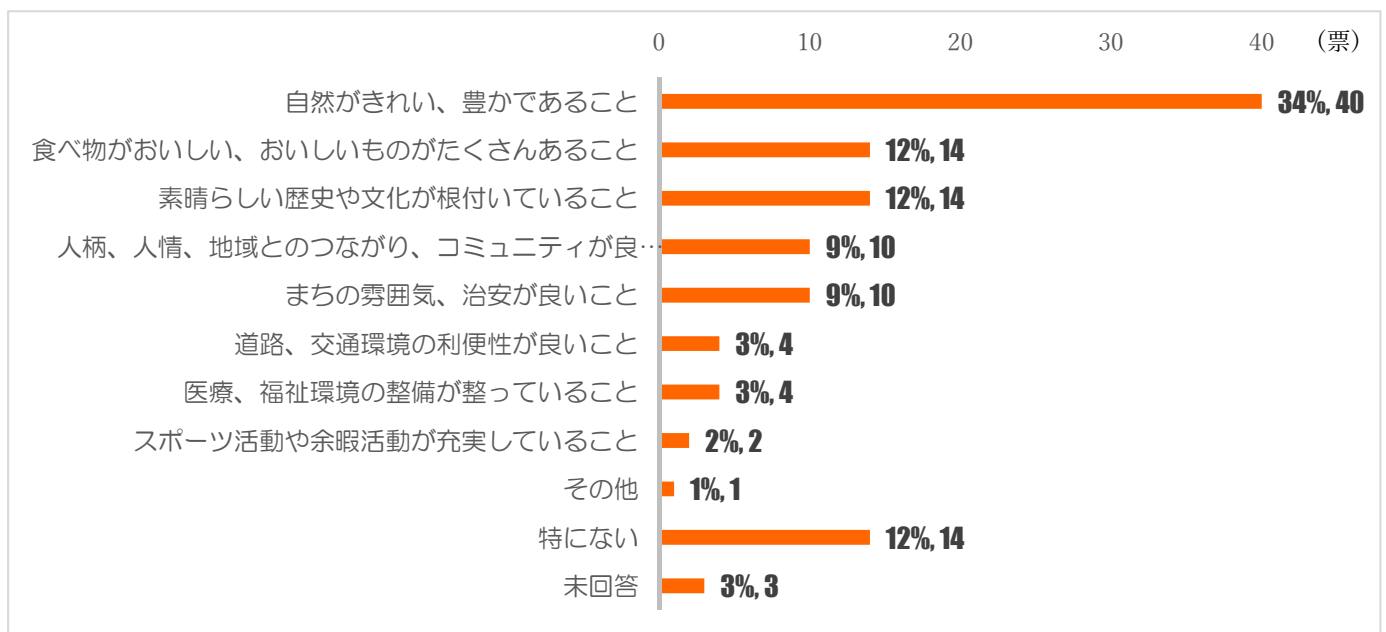
問 9. あなたは、玉名市が住みやすいまちだと思いますか。



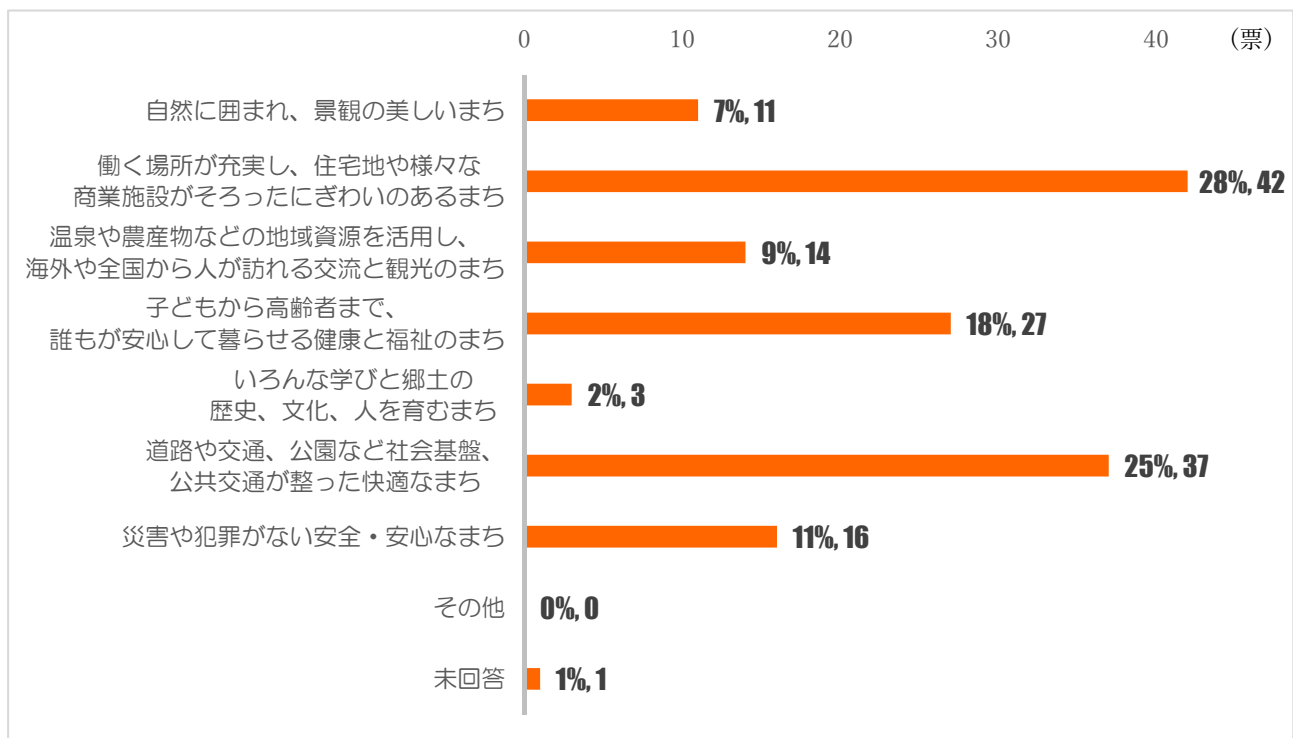
問 10. あなたは、玉名市が好きですか。



問 11. 玉名市の魅力、誇れると思えることは何ですか。(複数回答)



問 12. 将来、玉名市で住み続ける(住んでみる)としたらどのようなまちになってほしいと思いますか。(最もあなたの考えに近いものを2つ選択)



問 13. 今後、人口減少に歯止めをかけ、誰もが活力と魅力を感じる玉名市にするには、どのようなことを積極的に取り込むべきだと思いますか。普段学生生活で感じる率直な意見を教えてください。(自由記載)

- 全体で 31 の意見があった。
- 「商業施設の誘致」、「公共交通機関の充実」といった意見が多く出ている。

● 自由回答記載 (一部意見抽出)
就業先の確保や様々な人が交流できる場をつくる
若者も楽しめる場所(施設)を建設
交通機関の増強、各種イベントの開催
大型商業施設の誘致や保育園などの整備
駅前周辺に店舗を誘致
玉名市に住むことの具体的メリットを知らないので宣伝や簡潔にわかるようにすべき
地域と学生がより交流を持てる場をつくる。小中高生や大学生の交流の場
子育てサポートについての取組み情報を入手しやすくし明確化する